

令和4年度

あま市の保健



あま市子ども健康部健康推進課

目 次

1 あま市の概要

1 市の紹介	1
2 市の行政組織機構	2
3 市の財政状況	3
4 健康推進課の構成・事務分掌	4
5 保健センターの概要	5
6 保健統計（衛生統計）	6

2 母子保健事業

1 母子保健事業体系図	10
2 母子保健事業	11
3 母子保健事業詳細	13

3 成人保健事業

1 成人保健事業	27
2 成人保健事業詳細	29

4 高齢者保健事業（一般介護予防）

1 高齢者保健事業（一般介護予防）	42
2 高齢者保健事業（一般介護予防）詳細	43

5 歯科保健事業

1 歯科保健事業	46
2 歯科保健事業詳細	48

6 健康増進事業

1 健康増進事業	57
2 第2次あま市健康づくり計画	58
3 生き生き推進隊活動	63
4 食生活改善推進員	64
5 健康都市連合、健康都市連合日本支部	65

7 予防接種事業

1 予防接種事業一覧	66
2 予防接種事業詳細	68

8 新型コロナウイルス感染症対策

- | | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症対策 | 77 |
| 2 | 新型コロナワクチン接種事業 | 78 |

9 自殺対策事業

- | | | |
|---|----------|----|
| 1 | 自殺対策事業 | 81 |
| 2 | 自殺対策事業詳細 | 82 |

10 その他

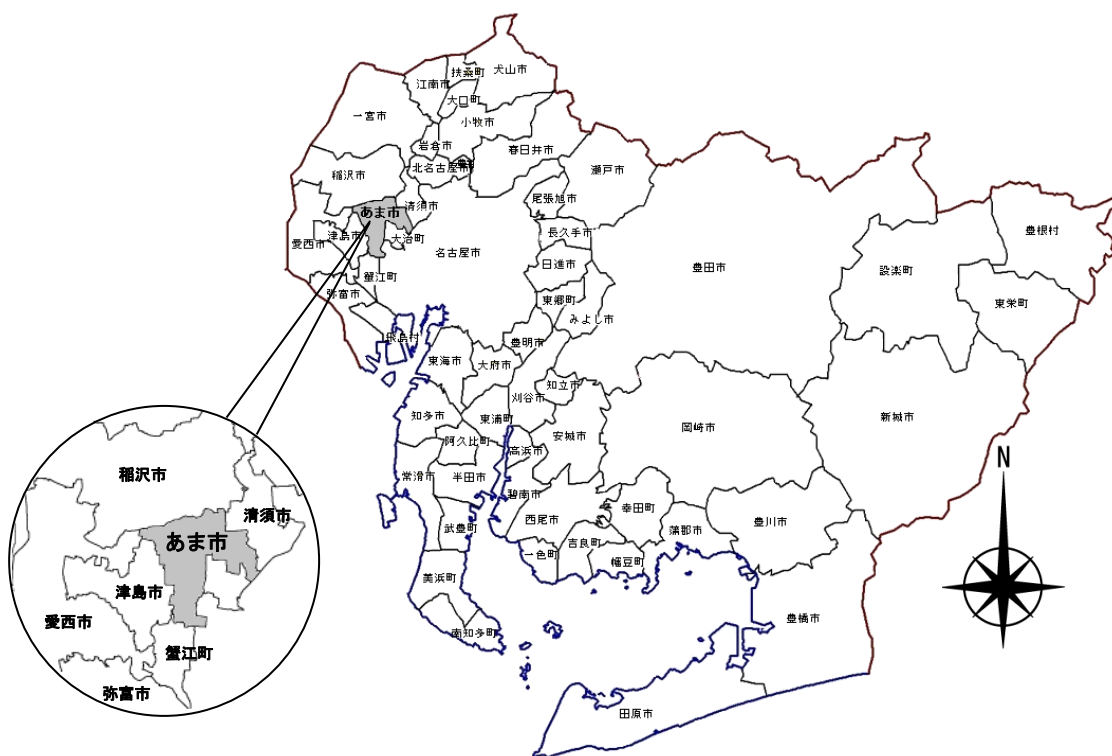
- | | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 保健師活動状況 | 86 |
| 2 | 骨髄ドナー等助成事業 | 89 |
| 3 | 救急医療情報キットの配布 | 89 |
| 4 | 献血 | 90 |
| 5 | 看護実習生の受け入れ | 90 |
| 6 | 災害対策訓練 | 90 |

1 あま市の概要

1 市の紹介

あま市は、愛知県の西部に位置し、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯となっており、5市（名古屋市、清須市、稲沢市、愛西市、津島市）2町（大治町、蟹江町）に接しています。市域は東西約7.9キロメートル、南北約7.8キロメートルで、面積は27.49平方キロメートルです。

広大な濃尾平野とそこを流れる河川の恩恵を受けて、近郊農業を中心に発展してきましたが、近年は名古屋市のベッドタウンとしても発展し、人口は約88,000人を擁します。名古屋市の中心部から公共交通機関で約15分という立地条件にありながら、田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しています。

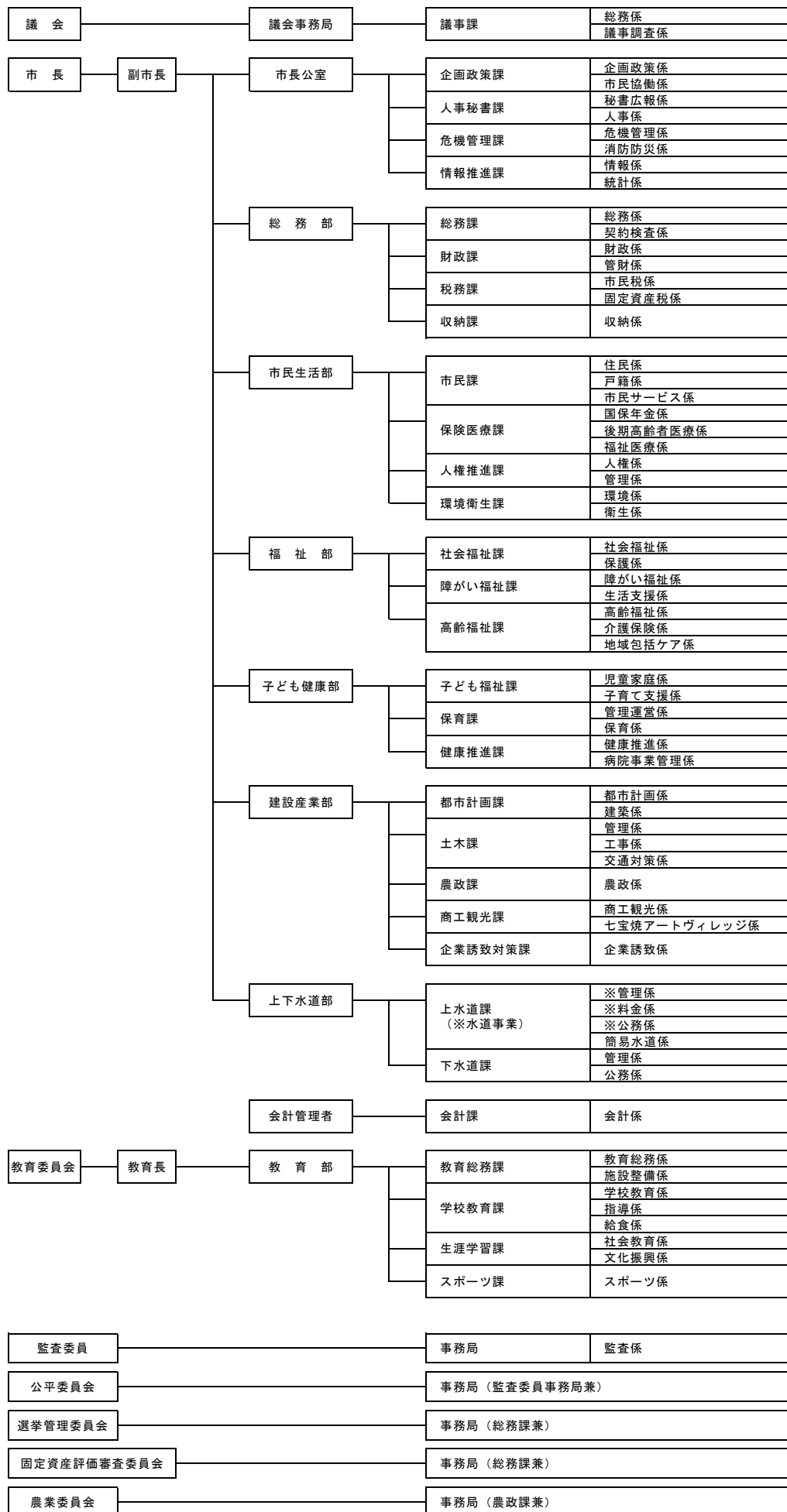


この地域の歴史は古く、市内からは弥生時代中期の遺跡も発掘されています。そして、市内には寺社や史跡が散在するとともに、甚目寺観音での「節分会」や萱津神社での「香の物祭」、蜂須賀蓮華寺での「二十五菩薩来迎会」など伝統文化が数多く残されています。

また、戦国時代に活躍した武将である蜂須賀小六正勝、福島正則をはじめ、7人もの大名を輩出した歴史のまちとしても知られています。

令和5年4月1日から市の組織が変わり、健康推進課は「市民生活部」から新たに設置された「子ども健康部」となりました。また、5月8日から七宝町沖之島深坪1番地に新庁舎が開庁しました。

2 市の行政組織機構



3 市の財政状況

令和4年度一般会計決算

歳入

区 分	金 額	構成比
	円	%
1 市税	11,344,278,466	27.79
2 地方譲与税	232,352,000	0.57
3 利子割交付金	5,383,000	0.01
4 配当割交付金	94,528,000	0.23
5 株式等譲渡 所得割交付金	65,082,000	0.16
6 法人事業税 交付金	159,345,000	0.39
7 地方消費税 交付金	1,988,317,000	4.87
8 自動車取得税 交付金	3,107	0.00
9 自動車税環境 性能割交付金	52,816,000	0.13
10 地方特例交付金	160,398,000	0.39
11 地方交付税	5,715,317,000	14.00
12 交通安全対策 特別交付金	11,648,000	0.03
13 分担金及び 負担金	137,979,365	0.34
14 使用料及び 手数料	279,956,348	0.69
15 国庫支出金	6,410,940,802	15.71
16 県支出金	2,637,573,284	6.46
17 財産収入	142,978,919	0.35
18 寄附金	102,514,452	0.25
19 繰入金	1,732,212,682	4.24
20 繰越金	1,798,615,756	4.41
21 諸収入	2,316,798,598	5.68
22 市債	5,428,441,000	13.30
歳入合計	40,817,478,779	100.00

歳出

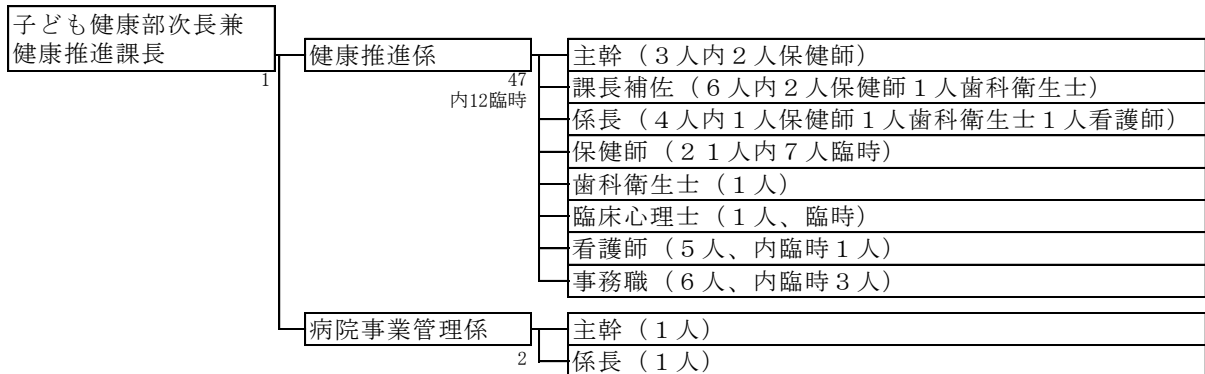
区 分	金 額	構成比
	円	%
1 議会費	225,978,101	0.58
2 総務費	7,715,575,461	19.79
3 民生費	11,465,309,353	29.41
4 衛生費	3,015,236,375	7.73
5 労働費	1,070,000	0.00
6 農林水産業費	535,227,122	1.37
7 商工費	606,482,869	1.56
8 土木費	1,497,408,126	3.84
9 消防費	1,151,600,433	2.95
10 教育費	3,213,408,514	8.24
11 災害復旧費	0	0.00
12 公債費	2,121,263,841	5.44
13 諸支出金	7,434,370,416	19.07
14 予備費	0	0.00
歳出合計	38,982,930,611	100.00

4 健康推進課の構成・事務分掌

(1) 構成

令和5年度

※令和5年4月1日現在（育児休暇中職員含む）



保健師（正職 24人 臨時 9人）

健康推進課

正職 19人
臨時 7人

保険医療課

正職 2人
臨時 1人

社会福祉課

臨時 1人

子ども福祉課

正職 1人

高齢福祉課

正職 1人

人事秘書課

正職 1人

(2) 事務分掌

健康推進係
<ul style="list-style-type: none"> 課の庶務に関すること。 保健センターの管理及び運営に関すること。 地域医療に関すること。 食品衛生に関すること。 献血に関すること。 感染症に関すること。 保健予防思想の普及に関すること。 健康の相談及び指導(保険医療課に属するものを除く。)に関すること。 各種健診(検診)(保険医療課に属するものを除く。)及び介護予防に関すること。 母子保健手帳の交付に関すること。 予防接種に関すること。 自殺対策に関すること。 養育医療に関すること。 その他健康推進に関すること。
病院事業管理係
<ul style="list-style-type: none"> 病院事業の運営及び管理に関すること。 病院事業会計に関すること。 病院事業の資産管理に関すること。 病院施設及び設備の維持及び管理に関すること。 その他病院事業に関すること。

5 保健センターの概要

<p>甚目寺保健センター (甚目寺総合福祉会館内)</p>	<p>七宝保健センター</p>
<p>所在地：あま市西今宿馬洗46番地 敷地面積：6,770㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 3階建 建築面積：2,844㎡ 延床面積：5,096㎡ 工期：着工 平成5年6月12日 完成 平成6年8月31日 設計監理：株式会社 浦野設計 施工：株式会社フジタ名古屋支店 総事業費：3,033,805千円</p> 	<p>所在地：あま市七宝町桂弥勒28番地 敷地面積：1,863.36㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,082.356㎡ 工期：着工 昭和60年6月14日 完成 昭和61年3月15日 設計監理：株式会社石川一級建築士事務所 施工：村本建設株式会社名古屋支店 総事業費：245,280千円</p> 
<p>美和保健センター</p>	
<p>所在地：あま市花正中之割2番地 敷地面積：2,749.6㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,779.3㎡ 工期：着工 昭和61年7月8日 完成 昭和62年2月20日 設計監理：株式会社丹羽英二建築事務所 施工：安藤建設株式会社名古屋支店 総事業費：334,254千円</p> 	

6 保健統計

(1) 人口と世帯

各年10月1日現在

年	区分	世帯数	人口		
			総数	男	女
平成29年		34,208	87,350	43,470	43,880
平成30年		34,623	87,442	43,515	43,927
令和元年		35,167	87,651	43,549	44,102
令和2年		34,041	86,126	42,561	43,565
令和3年		34,451	86,015	42,480	43,535
愛知県		3,260,383	7,516,008	3,745,355	3,770,653

資料：愛知県衛生年報

(2) 年齢3区分別人口割合

各年10月1日現在

年	区分	人口	年少人口 (人)	年少人口 割合(%)	生産年齢 人口(人)	生産年齢 人口割合 (%)	高齢人口 (人)	高齢人口 割合(%)
平成29年		87,350	12,033	13.8	51,926	59.7	22,960	26.4
平成30年		87,442	11,896	13.7	51,998	59.8	23,054	26.5
令和元年		87,651	11,770	13.5	52,385	60.1	23,007	26.4
令和2年		87,629	11,694	13.4	52,392	60.1	23,057	26.5
令和3年		86,015	11,440	13.3	51,554	59.9	23,021	26.8

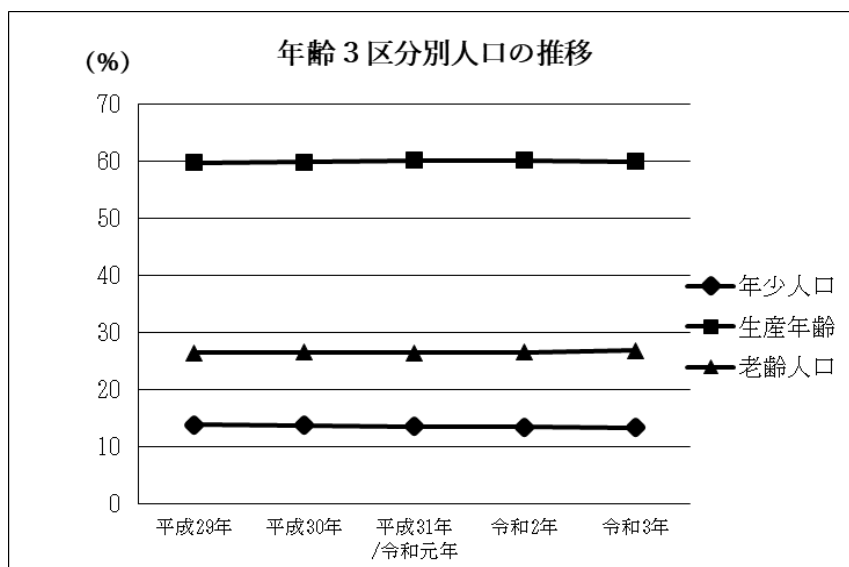
資料：愛知県統計年鑑

(注) 用語の説明

年少人口：14歳以下の人口

生産年齢人口：15歳以上64歳以下の人口

高齢人口：65歳以上の人口



(3) 人口動態統計

(単位：人)

年	区分	出生数				死亡数				自然増減数	
		総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率
平成 29 年		692	353	339	7.9	770	460	310	8.8	△78	△0.9
平成 30 年		675	347	328	7.7	834	494	340	9.5	△159	△1.8
令和元年		657	354	303	7.5	841	473	368	9.6	△184	△2.1
令和 2 年		681	380	301	7.9	843	483	360	9.8	△162	△1.9
令和 3 年		681	342	339	7.9	958	555	403	11.1	△277	△3.2
愛知県		53,918	27,667	26,251	7.2	73,769	39,082	34,687	9.8	△19,851	△2.6
年	区分	乳児死亡数				新生児死亡数		死産数			
		総数	男	女	率	実数	率	総数	自然	人工	率
平成 29 年		1	1	0	1.4	1	1	10	6.0	4	14.2
平成 30 年		0	0	0	0.0	0	0	11	5.0	6	16.0
令和元年		0	0	0	0.0	0	0	8	5.0	3	12.0
令和 2 年		1	1	0	1.5	0	0	12	4.0	8	17.3
令和 3 年		1	1	0	1.5	1	1	10	4.0	6	14.5
愛知県		103	63	40	1.9	54	1	994	512.0	482	18.1
年	区分	周産期死亡数				婚姻件数		離婚件数			
		総数	男	女	率	総数	男	女	率		
平成 29 年		2	1	1	2.9	410	5	187	2.1		
平成 30 年		0	0	0	0.0	449	5	172	2.0		
令和元年		2	2	0	3.0	426	5	168	1.9		
令和 2 年		0	0	0	0.0	356	4	175	2.0		
令和 3 年		0	0	0	0.0	356	4	163	1.9		
愛知県		189	146	43	3.5	33,509	4	11,130	1.5		

資料：愛知県衛生年報

(注1) 用語の説明

乳児死亡：生後 1 年未満の死亡

新生児死亡：生後 4 週間未満の死亡

早期新生児死亡：生後 1 週間未満の死亡

死産：妊娠 1 2 週以後の死産

周産期死亡：妊娠 2 2 週以降の死産＋早期新生児死亡

(注2) 率算出の計算式

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生} \cdot \text{死亡} \cdot \text{自然増加} \cdot \text{婚姻} \cdot \text{離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡} \cdot \text{新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{周産期死亡数}}{\text{出生} + \text{妊娠満 22 週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出生} (\text{出生} + \text{死産}) \text{数}} \times 1,000$$

(4) 低体重児出生数

(単位：人)

区分 年	総数	500g 未満	500～999g	1,000～ 1,299g	1,300～ 1,499g
平成 29 年	72	0	2	4	0
平成 30 年	67	1	1	1	2
令和元年	67	1	4	1	1
令和 2 年	63	0	1	0	4
令和 3 年	65	0	1	1	0
愛知県	5,266	24	147	122	121
区分 年	1,500～ 1,799g	1,800～ 1,999g	2,000～ 2,299g	2,300～ 2,499g	(参考) 2,500g
平成 29 年	5	7	20	34	3
平成 30 年	6	6	16	34	0
令和元年	6	4	19	31	1
令和 2 年	8	2	19	29	3
令和 3 年	3	7	21	32	0
愛知県	366	377	1,399	2,710	56

資料：愛知県衛生年報

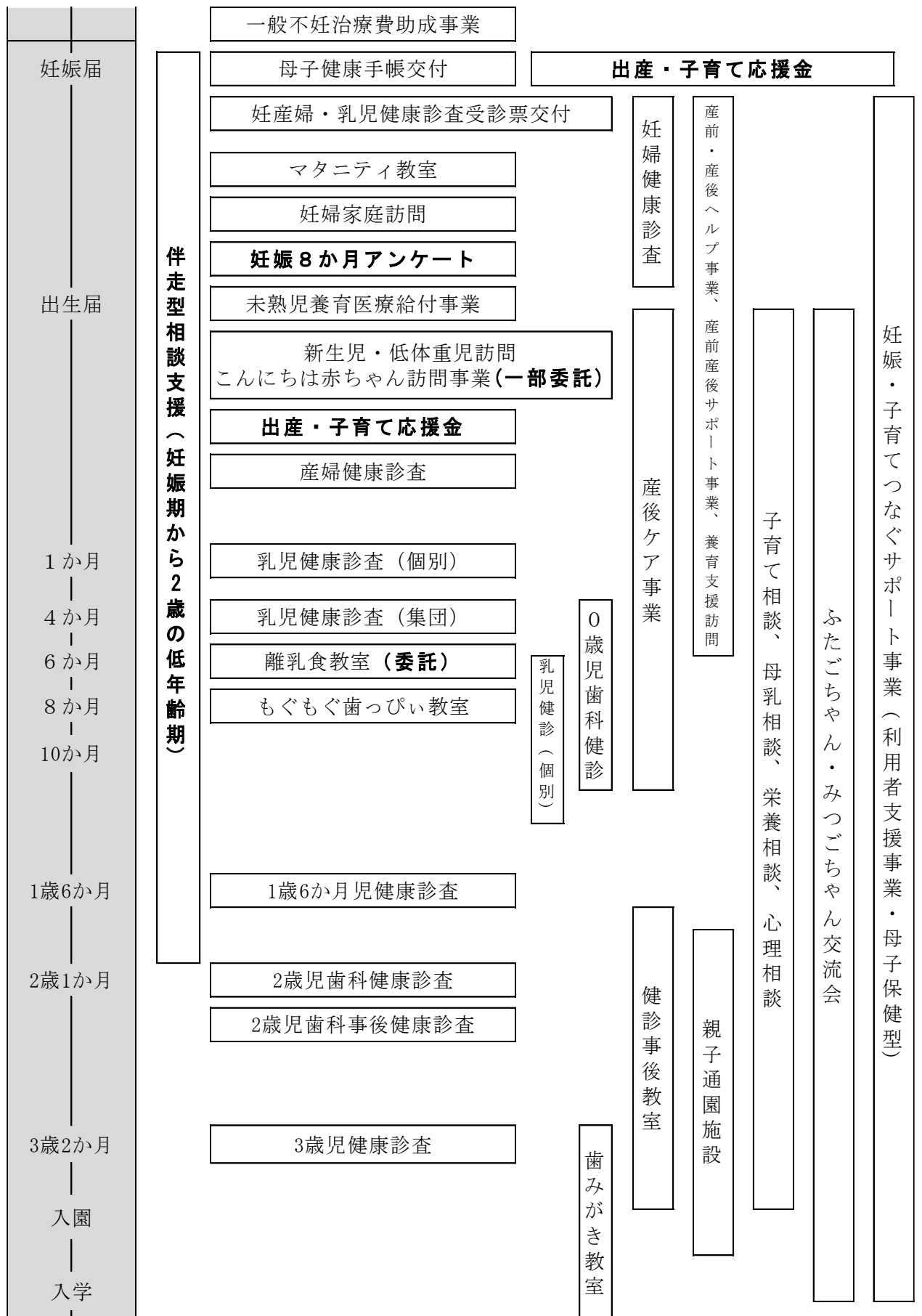
(5) 選択死因別死亡数・死亡率

(単位：人)

年	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧性疾患	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 29 年	770	881.5	1	1.1	254	290.8	4	4.6	3	3.4
平成 30 年	834	953.8	0	0.0	247	282.5	4	4.6	4	4.6
令和元年	841	959.5	4	4.6	256	292.1	5	5.7	3	3.4
令和 2 年	843	978.8	1	1.2	237	275.2	7	8.1	2	2.3
令和 3 年	958	1,113.8	3	3.5	298	346.5	7	8.1	2	2.3
愛知県	73,769	981.5	115	1.5	20,031	266.5	549	7.3	253	3.4
年	心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 29 年	109	124.8	49	56.1	7	8.0	40	45.8	7	8.0
平成 30 年	102	116.6	54	61.8	9	10.3	61	69.8	11	12.6
令和元年	116	132.3	50	57.0	8	9.1	53	60.5	12	13.7
令和 2 年	129	149.8	52	60.4	12	13.9	32	37.2	9	10.4
令和 3 年	115	133.7	69	80.2	15	17.4	37	43.0	9	10.5
愛知県	8,751	116.4	4,882	65.0	1,189	15.8	3,336	44.4	726	9.7
年	喘 息		肝疾患		腎不全		老 衰		不慮の事故	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 29 年	1	1.1	7	8.0	20	22.9	45	51.5	20	22.9
平成 30 年	1	1.1	6	6.9	16	18.3	40	45.7	29	33.2
令和元年	0	0.0	9	10.3	15	17.1	63	71.9	19	21.7
令和 2 年	0	0.0	14	16.3	16	18.6	58	67.3	21	24.4
令和 3 年	0	0.0	4	4.7	23	26.7	75	87.2	30	34.9
愛知県	33	0.4	877	11.7	1,305	17.4	8,967	119.3	2,021	26.9
年	自 殺		資料：愛知県衛生年報							
	実数	率								
平成 29 年	15	17.2	(注) 用語の説明 $\text{死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$							
平成 30 年	13	14.9								
令和元年	10	11.4								
令和 2 年	23	26.7								
令和 3 年	19	22.1								
愛知県	1,117	14.9								

2 母子保健事

1 母子保健事業体系図



2 母子保健事業

近年の少子化、核家族化、女性の社会進出等に伴い、子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進が求められています。

本市では、妊産婦及び乳幼児健康診査、マタニティ教室や離乳食教室等の各種教室の他、産後も安心して子育てができる支援体制としての「産後ケア事業」や保健師・助産師・子育て経験者等による相談支援等を行い、妊産婦の孤立感を解消し、家事・育児援助を行う「産前・産後ヘルプ事業」を実施しました。

また、令和5年4月1日からのこども家庭庁設置に向けた国の子育て支援策の一つとして、令和5年1月から、全ての妊婦及び0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯を対象とした伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的事業が開始されました。

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和4年度
				最終実績(人)
1	母子健康手帳交付	随時	手帳の使い方、妊産婦・乳児健診の受診票の利用方法、保健事業の案内、妊娠届出時アンケートの実施、相談	590 (双子6)
2	妊娠・子育て つなぐサポート事業 (利用者支援事業 母子保健型)	随時	妊娠期及び子育て期における母子保健や育児に関する相談	584
		随時	妊産婦や母子が利用できる母子保健サービス等の選定及び情報提供	584
		随時	妊産婦を対象とした支援プラン策定	205
		15回	要支援検討会	206
		3回	子育て支援連絡会議	
3	出産・子育て 応援金支給事業 (出産応援金)	令和5年 1月から	妊娠・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう面談等による支援(伴走型相談支援)とともに、子育て支援サービスの利用負担軽減(経済的支援)を一体的に行う 令和4年4月1日から令和5年3月31日までに妊娠届出した方に出産応援金50,000円を支給	遡及分 R4.4.1~ R4.12.31 出生若しくは 妊娠届出者 761 R5.1.4~3.31 妊娠届出者 149
4	産前・産後 ヘルプ事業 (家事・育児援助)	随時	産前・産後(12週まで)に体調不良等のため、家事又は育児を行うことが困難な世帯に支援者が訪問	5 (57時間)
5	産前・産後 サポート事業	随時	助産師による訪問(母乳相談等)	21 (実20)
6	産後ケア事業	随時	保健指導を必要とする産後1年未満の母親とその乳児が一定期間、医療機関に入院し、母体の管理及び生活指導、乳房管理、沐浴や授乳等の育児相談を実施 利用期間7日(上限)	2 (5日)

NO	事業名		実施時期 ・回数	事業内容	令和4年度	
					最終実績(人)	
7	妊産婦乳児 健康診査	妊婦	1人15回	医療機関において実施する妊婦の健康診査(14回)、子宮がん検診(1回)、産婦健康診査、乳児の健康診査の費用を助成	県内	7,519
		産婦	1人1回		県外	212
		乳児	1人2回		県内	555
					県外	36
8	乳児健康診査		32回	生後3~4か月児を対象に予診、身体計測、医師の診察、母乳相談	県内	1,003
					県外	31
9	1歳6か月児健康診査		30回	予診、身体計測、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	県内	616/618
10	3歳児健康診査		31回	予診、身体計測、検尿、視力・聴力検査、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	県外	99.6%
11	マタニティ教室		23回	一般編11回(お産について・沐浴・お父さんの妊婦体験・交流会) 歯科編12回(歯科医師の診察・講話)	一般	215
12	離乳食教室		20回	栄養士による離乳食前期・中期の話、交流会 委託	歯	171
13	ふたごちゃんみつごちゃん交流会		3回	多胎児の母親及び妊娠中の妊婦交流会・親子遊びなど		44
14	子育て相談		48回	全年齢を対象に身体計測と保健師による個別相談		19
15	栄養相談		48回	全年齢を対象に栄養士による離乳食や偏食等についての栄養指導		847
16	母乳相談		48回	産婦を対象に助産師による母乳相談及び授乳指導		227
17	心理相談		28回	臨床心理士による子どもの発達に関する個別相談		122
18	健診事後教室		60回	臨床心理士・保育士・保健師による遊びを通しての児の発達支援と母の育児支援		36
19	家庭訪問	随時	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問)、未熟児、乳幼児健診未受診者・要フォロー児、妊産婦への支援、虐待予防のための訪問	妊婦		15
				乳児(乳児家庭全戸訪問含む)		668
				幼児		185
				その他		586
20	一般不妊治療費助成事業		随時	不妊治療を受けている夫婦に対し、ホルモン療法等の一般不妊治療費に要した本人負担額の1/2(50,000円上限)を助成		42
21	未熟児養育医療給付事業		随時	入院医療を必要とする未熟児の保護者に対し養育医療費を給付		19

3 母子保健事業詳細

(1) 妊娠・子育てつなぐサポート事業（子育て世代包括支援センター）

子育て家庭や妊産婦が、子育て支援事業や教育・保育施設、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるよう、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行なうとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行うもので、あま市ではこの事業を平成29年度から開始しています。

・利用者支援事業 《母子保健型》

保健センターでは、妊娠の届出時の面談等で得た情報を基に、保健師による、妊娠・出産・育児に関する相談への対応と支援プランを作成し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制を構築しています。

また、妊娠届出時の面談等により得た情報を基にスクリーニングした妊婦に関しては、保健センターで開催する要支援検討会（定期開催）において、支援方針及び進捗状況の協議を行っています。

ア 母子健康手帳交付

母子健康手帳を交付することで、妊婦の自覚を高め、妊婦自らが健康管理できるよう支援しています。また、同時に妊婦アンケートを行うことにより、妊婦の心身の健康状態を確認し、支援のニーズの有無を把握しています。

交付場所：甚目寺・七宝・美和保健センター

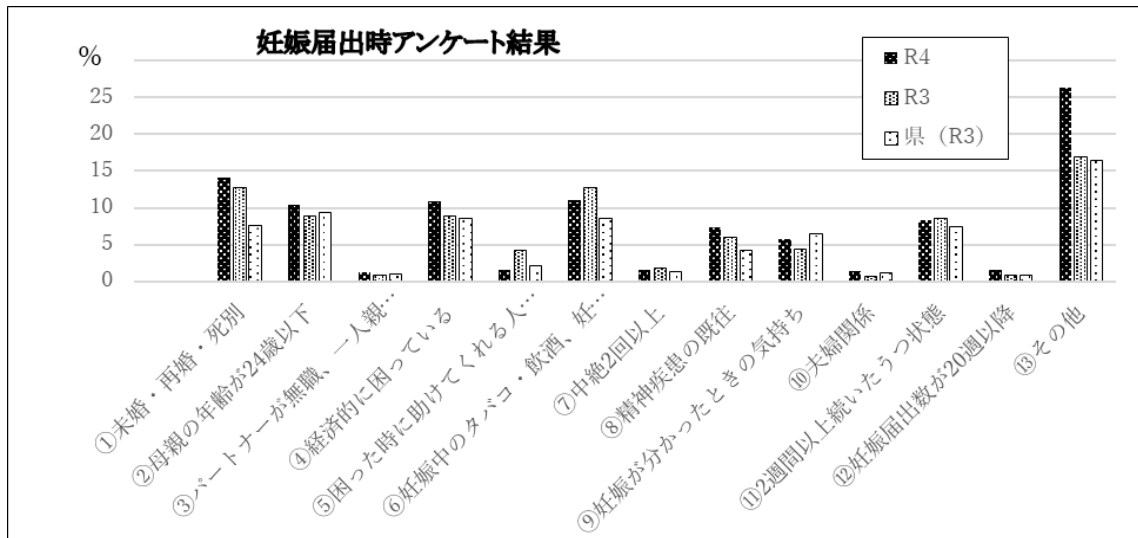
(単位：人)

区分 年度	母子健康 手帳 交付数	妊娠 届出数	届出時の妊娠週数					
			満11週 以内	満12～ 19週	満20～ 27週	満28週 以上	分娩後	不詳
平成30年	671	664	612(92.2)	41(6.2)	7(1.1)	3(0.5)	0(0.0)	1(0.2)
令和元年	733	725	689(95.0)	25(3.4)	4(0.6)	5(0.7)	2(0.3)	0(0.0)
令和2年	672	660	637(96.5)	17(2.6)	4(0.6)	0(0.0)	1(0.2)	1(0.2)
令和3年	623	615	593(96.4)	15(2.4)	3(0.5)	1(0.2)	1(0.2)	2(0.3)
令和4年	590	584	555(95.0)	20(3.4)	6(1.0)	2(0.3)	0(0.0)	1(0.2)
区分 年度	母の年齢		就業 あり	喫煙 あり	飲酒 あり	双胎	再交付	
	20歳未満	40歳以上						
平成30年	12(1.8)	32(4.8)	418(63.0)	27(4.1)	1(0.2)	7(1.1)	22	
令和元年	4(0.6)	15(2.1)	465(64.1)	21(2.9)	4(0.6)	6(0.8)	16	
令和2年	6(0.9)	23(3.5)	429(65.0)	15(2.3)	1(0.2)	12(1.8)	17	
令和3年	3(0.5)	25(4.1)	449(73.0)	13(2.1)	2(0.3)	8(1.3)	17	
令和4年	4(0.7)	20(3.4)	420(71.9)	8(1.4)	0(0.0)	6(1.0)	19	

※ () 内は届出数と比較した割合 (%)

妊娠届出時のアンケート結果

項目	令和4年度		令和3年度		県(令和4年度)率(%)
	人	率(%)	人	率(%)	
①未婚・再婚・死別	79	13.5	78	12.7	7.6
②母親の年齢が24歳以下	57	9.8	55	8.9	9.1
③パートナーが無職、一人親の場合は母親が無職	7	1.2	5	0.8	2.2
④経済的に困っている	68	11.6	55	8.9	9.5
⑤困った時に助けてくれる人がいない	11	1.9	26	4.2	2.1
⑥妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ	64	11.0	79	12.8	7.9
⑦中絶2回以上	8	1.4	11	1.8	1.1
⑧精神疾患の既往	42	7.2	37	6.0	4.6
⑨妊娠が分かったときの気持ち	38	6.5	27	4.4	6.5
⑩夫婦関係	8	1.4	4	0.7	1.2
⑪2週間以上続いたうつ状態	45	7.7	52	8.5	7.4
⑫妊娠届出数が20週以降	8	1.4	5	0.8	0.7
⑬その他	146	25.0	104	16.9	19.0
妊娠届出数	584		615		



イ 要支援検討会 協議件数 (単位：人)

年度	区分	検討会(回)	妊娠届出数(件)	検討数(件)		検討結果(件)				
				新規	継続者	ハイリスク妊婦レベル0	要支援妊婦			特定妊婦レベル4
							レベル1	レベル2	レベル3	
令和元年		15	725	207 (28.6)	61	22 (3.0)	34 (4.7)	142 (19.6)	1 (0.1)	5 (0.7)
令和2年		16	660	190 (28.8)	30	25 (3.8)	22 (3.3)	133 (20.2)	0 (0.0)	7 (1.1)
令和3年		16	615	159 (25.9)	8	16 (2.6)	13 (2.1)	120 (19.5)	0 (0.0)	8 (1.3)
令和4年		15	584	206 (33.5)	7	8 (1.3)	13 (2.1)	167 (27.2)	3 (0.5)	11 (1.8)

参加機関：保健センター、子育てコンシェルジュ、家庭児童相談員

※ () 内は妊娠届出数と比較した割合 (%)

(2) 伴走型相談支援

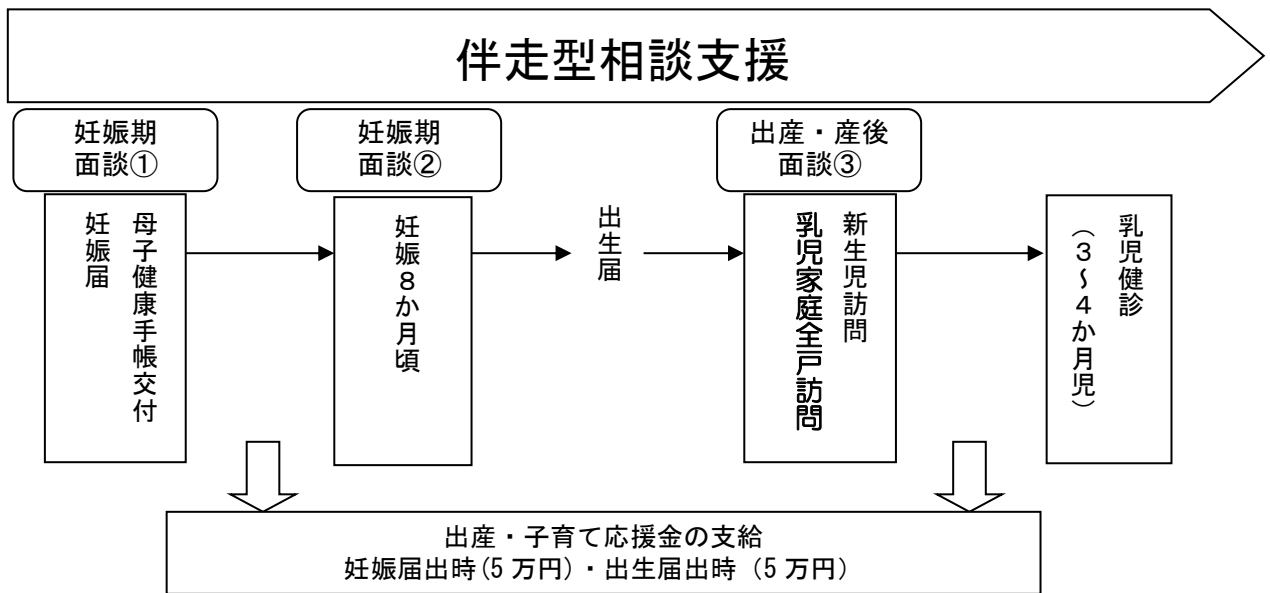
※伴走型相談支援とは

孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少なくないことから、すべての妊婦・子育て家庭にアンケート及び面談により、相談に応じ、必要な情報提供を行い、サービスにつなぐ支援を行う事業です。

保健センターでは、妊娠届出時の面談と乳児家庭訪問での面談を実施しており、支援が必要な方には、継続的にフォローしています。令和5年1月1日からは、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業が実施されることとなり、妊娠8か月頃にもアンケートを送付し、面談を希望される方には面談を実施しています。

また、妊娠届出時と生後4か月頃までに面談を受けると、あま市出産・子育て応援金支給事業実施要領（あま市告示第168号）の規定に基づき、出産・子育て応援金の支給が追加されました。

妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる伴走型相談支援を通じて、本人の同意のもと関係機関とも共有することで、これまで以上に効果的な支援を実施しています。



(3) 産前産後の支援事業

ア 産前・産後ヘルプ事業

平成30年度からNPO法人ママ・ぷらすに委託し、日中に家族等から支援を受けることができず、妊娠・出産による体調不良等により家事または育児について援助が必要な妊娠中または産後12週以内、ただし、多胎児の場合は産後24週以内の産婦に対し、育児不安や負担を軽減するため、支援者が自宅を訪問し家事や育児の援助を行っています。

年度	利用人数(人)	利用時間	備考
平成30年	5	15	研修会
令和元年	6	15	研修会
令和2年	0	0	
令和3年	9	116	
令和4年	5	57	

イ 産前・産後サポート事業

平成30年度から助産師が妊産婦の妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、家庭訪問により相談を行なっています。

年度	実人数(人)	延人数(人)
平成30年	11	13
令和元年	22	22
令和2年	16	16
令和3年	16	16
令和4年	20	21

ウ 産後ケア事業

平成30年度から2か所の産科医療機関への委託により宿泊型・デイサービス型の区分で実施しています。

利用者負担は、宿泊型が1泊あたり7,000円、デイサービス型が1日あたり3,500円であり、生活保護世帯又は市町村民税が非課税である世帯は無料となります。

年度	区分	委託医療機関数		申請者数(人)	利用実績(件数)	
			医療機関名			利用区分(件数)
平成30年	2	2	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック	2	2	4泊5日(1)、6泊7日(1)
令和元年	2	2	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック	5	5	3泊4日(1)、5泊6日(1)、 6泊7日(3)
令和2年	3	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	8	4	2泊3日(1)、3泊4日(1)、 5泊6日(1)、6泊7日(1)
令和3年	3	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	6	6	1泊2日(1)、3泊4日(1)、 5泊6日(1)、6泊7日(3)
令和4年	4	4	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科	2	2	1泊2日(1)、2泊3日(1)

(4) 妊産婦・乳児健康診査（医療機関委託）

妊産婦及び乳児の健康診査並びに妊婦のHBs抗原検査及び梅毒血清反応検査（STS）に要した費用を助成することで、妊産婦及び乳児の健康の保持・増進、異常の早期発見・早期治療並びにB型肝炎の母子感染を防止し、結果をもとに医療機関と連携しています。

ア 妊産婦健診

（単位：人）

区分 回数	受診者数	県外受診 (再掲)	異常なし	所見あり	HBs抗体 (+)
第1回	582	2	543	37	2
第2回	578	3	561	17	
第3回	567	4	557	10	
第4回	573	1	553	20	
第5回	563	4	524	39	
第6回	555	5	512	43	
第7回	528	9	487	41	
第8回	553	5	423	130	
第9回	536	25	507	29	
第10回	547	37	489	58	
第11回	474	30	452	22	
第12回	521	36	412	109	
第13回	373	30	362	11	
第14回	223	19	218	5	
子宮頸がん	558	2	549	9	
産後	591	36	566	25	

イ 乳児健診

（単位：人）

区分 月齢	受診者数	受診結果						
		異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲)要医療		要精密 検査
						精神面	身体面	
1～2か月	594	566	6	11	11	0	11	0
3～5か月	0	0	0	0	0	0	0	0
6～8か月	52	44	2	5	1	0	1	0
9～12か月	388	327	7	45	9	0	9	0

ウ 年度別受診者数（全体）

（単位：人）

回数 年度	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
	平成30年	653	635	625	635	630	621	623	669
令和元年	722	693	690	682	673	659	628	687	606
令和2年	656	649	648	663	662	640	633	674	640
令和3年	603	608	607	612	611	611	613	652	619
令和4年	582	578	567	573	563	555	528	553	536
回数 年度	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	子宮頸がん	乳児健診		産婦
							第1回	第2回	
平成30年	651	575	609	455	287	623	657	479	642
令和元年	644	547	630	410	265	686	676	418	668
令和2年	662	572	630	437	273	627	657	466	660
令和3年	654	567	624	424	285	577	683	447	673
令和4年	547	474	521	373	223	558	594	440	591

エ 年度別受診者数（県外助成）

（単位：人）

回数 年度	申請者数	助成枚数 (枚)	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	平成30年	60	408	4	3	8	8	8	14	17
令和元年	70	473	9	12	13	12	12	12	18	16
令和2年	64	464	9	10	10	12	16	16	19	18
令和3年	53	329	4	6	4	4	9	10	15	10
令和4年	47	279	2	3	4	1	4	5	9	5
回数 年度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	子宮頸がん	乳児健診		産婦
								第1回	第2回	
平成30年	29	48	40	51	38	28	4	47	0	50
令和元年	33	52	48	51	37	26	6	57	0	59
令和2年	34	52	46	50	40	28	8	47	1	48
令和3年	30	35	35	34	27	22	2	40	0	42
令和4年	25	37	30	36	30	19	2	30	1	36

(5) 乳幼児健康診査

乳児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診（歯科保健事業に記載）及び3歳児健診を実施することにより、乳幼児の健全な発育の確認及び育児支援を行っています。

ア 乳児健康診査

生後3～4か月児を対象に発育・栄養状態の確認、先天的な病気の有無・早期発見に努めるとともに、育児に対する不安や悩みの解消を図ります。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	対象 者数	受診 者数 受診率	一 般 健 康 診 査								
				受 診 結 果						(再掲)要医療		要精密 検査
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	精神面	身体面			
平成30年	46	719	708 98.5%	529 (74.7)	65 (9.2)	84 (11.9)	22 (3.1)	0 (0.0)	22 (3.1)	8 (1.1)		
令和元年	43	633	619 97.8%	467 (75.4)	43 (6.9)	83 (13.4)	18 (2.9)	0 (0.0)	18 (2.9)	8 (1.3)		
令和2年	38	754	719 95.4%	551 (76.6)	65 (9.0)	85 (11.8)	15 (2.1)	0 (0.0)	15 (2.1)	3 (0.4)		
令和3年	38	692	681 98.4%	519 (76.2)	59 (8.7)	82 (12.0)	15 (2.2)	0 (0.0)	15 (2.2)	6 (0.9)		
令和4年	32	618	616 99.7%	461 (74.8)	51 (8.3)	71 (11.5)	14 (2.3)	0 (0.0)	14 (2.3)	19 (3.1)		

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲)要医療	
					精神面	身体面
平成30年	7	4	1	2	0	2
令和元年	8	4	3	1	0	1
令和2年	0	0	0	0	0	0
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	12	10	2	0	0	0

イ 1歳6か月児健康診査

運動機能・精神発達の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、むし歯の予防、幼児の栄養及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対 象 者 数	受 診 者 数 受 診 率	受 診 結 果						
				異 常 な し	既 医 療	要 観 察	要 医 療	(再掲) 要医療		要 精 密 検 査
				精 神 面	身 体 面					
平成30年	32	698	683 97.9%	597 (87.4)	35 (5.1)	31 (4.5)	7 (1.0)	0 (0.0)	7 (1.0)	13 (1.9)
令和元年	32	697	685 98.3%	624 (91.1)	16 (2.3)	34 (5.0)	6 (0.9)	0 (0.0)	6 (0.9)	5 (0.7)
令和2年	29	718	697 97.1%	612 (87.8)	25 (3.6)	46 (6.6)	8 (1.1)	0 (0.0)	8 (1.1)	6 (0.9)
令和3年	33	789	790 100.1%	705 (89.2)	37 (4.7)	31 (3.9)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	7 (0.9)
令和4年	30	696	679 97.6%	589 (86.7)	37 (5.4)	29 (4.3)	17 (2.5)	0 (0.0)	17 (2.5)	7 (1.0)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受 診 者 数	異 常 な し	要 観 察	要 医 療	(再掲) 要医療	
					精 神 面	身 体 面
平成30年	9	2	4	3	0	3
令和元年	2	0	1	1	0	1
令和2年	3	1	0	2	0	2
令和3年	3	0	2	1	0	1
令和4年	3	0	1	2	0	2

ウ 3歳児健康診査

視覚・聴覚・運動・発達等の障がいを見出し、適切な指導を行います。また、う蝕の予防、発育・栄養・生活習慣及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療		要精密 検査
				精神面	身体面					
平成30年	36	754	736 97.6%	515 (70.0)	18 (2.4)	128 (17.4)	4 (0.5)	0 (0.0)	4 (0.5)	71 (9.6)
令和元年	32	704	679 96.4%	486 (71.6)	17 (2.5)	104 (15.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	2 (0.3)	70 (10.3)
令和2年	31	717	698 97.4%	524 (75.1)	9 (1.3)	85 (12.2)	5 (0.7)	0 (0.0)	5 (0.7)	75 (10.7)
令和3年	33	780	761 97.6%	631 (82.9)	38 (5.0)	36 (4.7)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	46 (6.0)
令和4年	31	726	719 99.0%	624 (86.8)	22 (3.1)	18 (2.5)	3 (0.4)	0 (0.0)	3 (0.4)	52 (7.2)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
平成30年	33	23	8	2	0	2
令和元年	23	12	5	6	1	5
令和2年	16	4	11	1	0	1
令和3年	3	3	0	0	0	0
令和4年	10	8	0	2	0	2

乳幼児健診は、すべてのお子さんを対象とする事業であり、受診前には保護者に健診アンケートを記入していただき、育児に対しての現状を把握し、相談に応じています。

健診未受診児は子どもの虐待につながるリスクが高く、産後うつ状態、閉じこもり等の育児上の問題を抱える保護者や発達の遅れを持つ乳幼児が潜在していることが考えられます。また、令和4年度健診アンケートから、月齢が上がるほど、しつけのし過ぎ、感情的に叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったことがある方が増えていることがわかります。

未受診者に対して、電話や訪問等で状況確認と受診勧奨を行い、必要に応じて子育て支援課や保育園等に連絡を取り、児の安全確認を行うことにより、全数把握に努めています。

令和4年度健診アンケート

問 この数か月の間にご家庭で 次のことがありましたか(複数回 答)	乳児健診 (生後3～4か月)			1歳6か月児健診			3歳児健診		
	あま市		県 率 (%)	あま市		県 率 (%)	あま市		県 率 (%)
	数	率 (%)		数	率 (%)		数	率 (%)	
しつけのし過ぎがあった	4	0.7	0.4	12	1.8	1.4	18	2.5	3.5
感情的に叩いた	3	0.5	0.6	15	2.3	3.0	32	4.4	4.9
乳幼児だけを家に残して外出 した	3	0.5	0.6	5	0.8	0.5	2	0.3	0.5
長時間食事を与えなかった	4	0.7	0.1	0	0	0.1	2	0.3	0.1
感情的な言葉で怒鳴った	28	4.6	4.0	118	18.0	14.2	201	27.6	27.2
子どもの口をふさいだ	1	0.2	0.2	1	0.2	0.3			
子どもを激しく揺さぶった	1	0.2	0.1	4	0.6	0.1			
該当なし	569	92.8	93.8	504	76.5	81.7	474	65.0	69.2

(6) 健康教室・健康教育

離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室等の各種教室を行い、乳幼児の発育支援、保護者に対する助言を行っています。また、マタニティ教室では、パパを対象に妊婦体験、沐浴・おむつ交換を通して、出産後の赤ちゃんのイメージをつけ、育児への不安を解消し、前向きに子育てができるよう取り組んでいます。

ア マタニティ教室

(単位：人)

区分 年度	一 般 編					栄 養 編				
	回数 (回)	参加 者数	再掲) 初産	再掲) 経産	再掲) 父親	回数 (回)	参加 者数	再掲) 初産	再掲) 経産	再掲) 父親
平成 30 年	12	229	115	8	106	9	54	40	2	12
令和元年	11	214	101	13	100	8	50	34	4	12
令和 2 年	8	121	60	3	58	5	19	13	2	4
令和 3 年	9(1)	119	61	6	52	4	8	7	0	1
令和 4 年	11(1)	171	88	7	76					

※令和 3 年度からウェブでのマタニティ教室を実施
() 内はウェブでの実施回数を再掲

イ 離乳食教室

(単位：人)

区分 年度	対象者数	参加者数	参加率 (%)	再掲) 健診 事後指導	託児
平成 30 年	722	288	39.9	0	199
令和元年	859	225	26.2	3	169
令和 2 年	730	82	11.2	0	48
令和 3 年	509	73	14.3	1	59
令和 4 年	700	135	19.3	0	125

※令和 4 年度から NPO 法人ママ・ぷらすに委託し、実施

ウ ふたごちゃん・みつごちゃん交流会

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	参加者数	再掲) 妊婦	再掲) 産婦	再掲) 父親
平成 30 年	3	30	3	27	0
令和元年	3	25	4	21	0
令和 2 年	3	23	4	19	0
令和 3 年	3	21	4	17	0
令和 4 年	3	19	2	16	1

(7) 相談事業

乳幼児の発育を支援し、保護者に対して育児に関する不安を軽減できるよう、子育て相談、心理相談等を行っています。

ア 子育て相談

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	参加者内訳					個別相談内訳				再掲)健診事後指導			
		乳児	再掲) 初	幼児	再掲) 初	計	保健	栄養	歯科	母乳	乳児		幼児	
											初	延	初	延
平成30年	48	1,350	392	1,324	214	2,674	623	429	108	231	151	203	53	110
令和元年	44	1,029	348	1,031	187	2,060	590	323	81	170	124	144	52	81
令和2年	32	469	212	393	144	862	226	141	64	91	53	59	5	5
令和3年	43	628	272	460	129	1,088	287	206	51	126	97	115	25	39
令和4年	48	847	298	617	124	1,464	466	227	71	122	128	155	13	20

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止（中止したが、実施予定日に子育て希望者が来所した場合は子育て相談を実施したため、実施回数・参加者に計上）

イ 心理相談（随時）

(単位：人)

区分 年度	相談対象者内訳							
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	合計
平成30年	0	6	14	14	3	1	2	40
令和元年	0	3	10	11	3	3	2	32
令和2年	0	7	11	5	1	0	1	25
令和3年	0	10	13	18	2	7	3	53
令和4年	0	4	11	13	3	4	1	36

ウ 事後教室（まっつこ教室、つくしんぼ教室、たんぼぼ教室）

(単位：人)

区分 年度	まっつこ教室				つくしんぼ教室				たんぼぼ教室			
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 ～	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 ～	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 ～
平成30年	17	33	111	1	24	34	168	4	30	55	205	14
令和元年	14	22	82	5	16	19	94	2	27	55	182	10
令和2年	12	19	49	3	13	33	77	3	22	53	104	12
令和3年	9	16	48	2	19	38	94	10	19	42	99	9
令和4年	12	21	87	4	23	35	116	3	24	46	169	3
区分 年度	合計											
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 ～								
平成30年	71	122	484	19								
令和元年	57	96	358	17								
令和2年	47	105	230	18								
令和3年	47	96	241	21								
令和4年	59	102	372	10								

(8) 訪問事業

全ての乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結び付けます。

また、養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、養育に関する指導、助言を行うことにより、適切な養育の実施を確保します。

(単位：人)

年度	区分	長期療養児	乳児			幼児	妊婦	産婦	専門的相談支援
			新生児	未熟児	その他				
平成30年	実人数	0	29	51	592	168	10	635	64
	延人数	0	29	51	667	209	12	640	138
令和元年	実人数	0	69	56	563	152	13	652	22
	延人数	0	73	56	604	167	15	658	42
令和2年	実人数	0	39	57	564	130	18	621	33
	延人数	0	41	60	591	145	20	627	56
令和3年	実人数	1	52	30	650	185	16	684	28
	延人数	1	55	32	670	220	21	694	68
令和4年	実人数	0	34	33	540	134	10	572	36
	延人数	0	35	34	599	185	15	586	106

※令和4年度から一部の家庭訪問をNPO法人ママ・ぷらすに委託

(9) 一般不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦への一般不妊治療に要する費用の助成することで、経済的な負担の軽減を図り、少子化対策の充実を図ります。令和元年度に助成金額を4万5千円から5万円に増額し、令和3年度以降は所得制限も撤廃されました。

また、令和4年4月から不妊治療が保険適用となりましたが、市としては、保険適用となっても経済的な負担があると考え、一般不妊治療助成事業を引き続き実施しています。

(単位：人)

年度	区分	申請者数	助成件数	母子健康手帳交付数
平成30年		35	35	8
令和元年		48	46	12
令和2年		57	57	22
令和3年		74	74	15
令和4年		43	42	16

(10) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児(出生児の体重が2,000グラム以下等)が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を公費により負担する制度となります。

・年度別給付件数

区分 年度	申請者数 (人)	再掲) 双子	給付実件数 (人)	給付延件数 (人)
平成30年	19	2組	20	54
令和元年	31	0組	23	58
令和2年	27	1組	29	81
令和3年	22	3組	23	45
令和4年	19	1組	19	36

・年度別体重別給付件数

(単位：人)

区分 年度	1,000g 以下	1,000g 以上 1,500g 以下	1,501g 以上 1,800g 以下	1,801g 以上 2,000g 以下	2,001g 以上 2,300g 以下	2,301g 以上 2,500g 以下	2,501g 以上
平成30年	3	3	6	4	1	0	2
令和元年	5	2	5	5	0	0	4
令和2年	1	4	9	0	1	1	8
令和3年	0	1	3	7	3	0	7
令和4年	4	5	0	1	1	0	6

※新規給付者のみ

【参考】低出生体重児届出

区分 年度	届出数 (件)
平成30年	43
令和元年	54
令和2年	49
令和3年	40
令和4年	47

3 成人保健事業

1 成人保健事業

市民の健康水準を高めていくには、若い世代から生活習慣病（脳血管疾患、心疾患、がん、糖尿病など）を予防し、健康管理に対する支援や健康診査等の保健事業による健康づくり支援が必要となります。

本市では、がん検診や30・35歳健診等の健康診査を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげ、個別の健康相談や教室を設けることで、健康管理の推進を行いました。

また、新規事業として、令和4年7月より、がん患者の治療による脱毛や乳がん治療による乳房の形状の変化による心理的・経済的負担の軽減を図るため、がん患者アピランスケア支援事業を開始しました。

NO	事業名		実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和4年度
						最終実績 (人)
1	健康手帳交付		随時	40歳以上	希望者に随時配付	16
2	胃がん検診	個別	6～10月	50歳以上で前年度内視鏡未受診者	胃内視鏡検査	926
		集団			46回	40歳以上で前年度内視鏡未受診者
3	大腸がん検診	個別	6～10月	40歳以上	便潜血検査	4,071
		集団				46回
	がん検診推進事業(クーポン)	集団	5～2月	41歳	便潜血検査	
4	肺がん検診	個別	6～10月	40歳以上	胸部レントゲン直接撮影、喀痰検査【50歳以上の喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙指数)が600以上の方で希望者】	4,510
		集団				46回
5	前立腺がん検診	個別	6～10月	50歳以上男性	PSA検査(血液検査)	
		集団				30回
6	子宮がん検診	個別	6～10月	20歳以上女性で前年度子宮がん検診未受診者	視診、頸部または体部細胞診検査(6か月以内に不正出血、月経異常、褐色のおりものがあった方で希望者)	
		集団			20回	視診、頸部細胞診検査
	がん検診推進事業(クーポン)	個別	6～2月	21歳女性		視診、頸部細胞診検査
		集団			20回	

NO	事業名		実施時期・回数	対象	事業内容	令和4年度
						最終実績(人)
7	乳がん検診	個別	6~10月	30歳以上39歳以下女性	視触診、超音波検査	408
		集団		30回	40歳以上女性で前年度乳がん(マンモ)検診未受診者	マンモグラフィ検査
	がん検診推進事業(クーポン)	個別	6~2月	41歳女性	マンモグラフィ検査	72
		集団				0回
8	肝炎ウイルス検査	個別	6~10月	41歳以上70歳以下で過去に肝炎検査を受けたことがない方	B型・C型肝炎ウイルス検査(血液検査)	24
		集団				33回
	健康増進事業(クーポン)	集団	33回	40歳	B型・C型肝炎ウイルス検査(血液検査)	63
9	30・35歳健診	集団	6回	30・35歳	身体計測、血圧、血液検査	101
10	すこやか健診	集団	1回	40歳以上生活保護受給者	身体計測、血圧、血液検査、心電図	6
11	骨粗しょう症検診	集団	4回	20歳以上70歳以下の女性で前年度骨粗しょう症検診未受診者	骨粗しょう症の早期発見と予防 踵骨(かかと)の超音波検査	85
13	健康相談		随時	希望者	健康に関する相談	235
14	栄養相談		随時	希望者	個別の栄養相談	3
17	いきいき体操		128回	希望者	健康増進・体力向上のための体操	1,187
18	乳がん自己検診法指導		30回	乳がん検診受診者	乳がん検診受診者への自己検診法指導	841
19	骨粗しょう症栄養指導		4回	骨粗しょう症検診受診者	骨粗しょう症検診の結果、要指導、要精検になった方への栄養指導	42
12	がん患者アピアランスケア支援事業		随時	がん治療に伴う補整具の購入	がん患者の治療による脱毛や乳房の形状の変化に対するウィッグや、乳房補整具の購入費用を補助	ウィッグ 18 乳房補整具 8
20	家庭訪問		随時	希望者及び関係機関から連絡	疾病の治療や自立に向けての相談、支援	14

2 成人保健事業詳細

(1) 健康手帳交付

健康手帳を交付することで、健康診査の記録や健康の保持のために必要な事項を記録し、自らが健康管理できるよう支援します。

交付場所：七宝・美和・甚目寺保健センター、がん検診、健康相談、各種教室

(単位：人)

区分 年度	40～74歳		75歳以上		計	
	男	女	男	女	男	女
平成30年	1	11	2	8	3	19
令和元年	1	6	2	6	3	12
令和2年	2	2	2	2	4	4
令和3年	0	2	0	0	0	2
令和4年	5	5	2	4	7	9

※新規交付のみ

(2) 健康診査

成人の健康診査として、がん検診や肝炎ウイルス検査、30・35歳健診などを実施し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげ、市民の健康向上や健康管理の推進を行います。

ア がん検診

がん検診を実施することにより、がんの早期発見、早期治療につなげます。

(ア) 各種がん検診年度別受診状況

(単位：人)

区分 年度	胃がん		子宮頸がん		乳がん	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
平成30年	4,313	8.1	1,874	5.2	1,704	6.3
令和元年	4,109	7.7	2,003	5.5	1,793	6.6
令和2年	2,611	4.9	1,147	3.1	780	2.8
令和3年	2,759	5.2	1,505	4.2	1,193	4.4
令和4年	3,527	6.6	1,729	4.7	1,499	5.4
区分 年度	肺がん		大腸がん		前立腺がん	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
平成30年	5,934	11.2	5,837	11.1	2,452	13.5
令和元年	6,157	11.6	6,017	11.3	2,514	13.9
令和2年	4,666	8.8	4,288	8.0	1,926	10.5
令和3年	5,213	9.8	5,036	9.5	2,129	11.4
令和4年	5,815	10.8	5,495	10.2	2,382	12.5

※子宮がん・乳がんは単年受診率

※乳がん検診は、マンモグラフィのみ

(イ) 胃がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者 数	受診者数			受診率 (%)	要精検者数			要精検 率 (%)	
		X線 検査	内視鏡 検査	合計		X線 検査	内視鏡 検査	合計		
40～44歳	5,809	192		192	3.3	5		5	2.6	
45～49歳	7,756	233		233	3.0	5		5	2.1	
50～54歳	7,412	206	58	264	3.6	7	3	10	3.8	
55～59歳	5,301	190	61	251	4.7	8	2	10	4.0	
60～64歳	4,326	206	70	276	6.4	9	6	15	5.4	
65～69歳	4,185	263	102	365	8.7	11	7	18	4.9	
70歳以上	18,906	1,311	635	1,946	10.3	102	48	150	7.7	
合計	男	26,134	1,230	425	1,655	6.3	92	33	125	7.6
	女	27,561	1,371	501	1,872	6.8	55	33	88	4.7
	計	53,695	2,601	926	3,527	6.6	147	66	213	6.0

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者 数	精検受診者 数	精検受診率 (%)	精密検査結果											未受診・未把握		
				異常所見なし	胃がん	食道がん	悪性リンパ腫	その他のがん	胃・十二指腸潰瘍	胃ポリープ	粘膜下腫瘍	胃・十二指腸潰瘍癒痕	胃炎	がんの疑い又は未確定		その他	
40～44歳	5	4	80.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	
45～49歳	5	5	100.0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	
50～54歳	10	10	100.0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	3	0	
55～59歳	10	9	90.0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	3	0	0	1	
60～64歳	15	14	93.3	0	0	0	0	0	0	3	0	1	7	1	2	1	
65～69歳	18	16	88.9	2	1	0	0	0	3	2	1	1	6	0	0	2	
70歳以上	150	140	93.3	7	3	0	0	1	6	32	4	10	60	9	8	10	
合計	男	125	117	93.6	9	3	0	0	1	7	26	2	11	43	8	7	8
	女	88	81	92.0	6	1	0	0	0	3	18	3	2	40	2	6	7
	計	213	198	93.0	15	4	0	0	1	10	44	5	13	83	10	13	15

(ウ) 大腸がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)	
						40～44 歳
45～49 歳	7,756	307	4.0	16	5.2	
50～54 歳	7,412	362	4.9	21	5.8	
55～59 歳	5,301	326	6.1	18	5.5	
60～64 歳	4,326	378	8.7	29	7.7	
65～69 歳	4,185	590	14.1	41	6.9	
70 歳以上	18,906	3,266	17.3	312	9.6	
合 計	男	26,134	2,424	9.3	222	9.2
	女	27,561	3,071	11.1	225	7.3
	計	53,695	5,495	10.2	447	8.1

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率 (%)	精密検査結果										未受診・未把握	
				異常なし	大腸がん	ポリープ (非腺腫を含む)	憩室	痔疾患	胃疾患	潰瘍性大腸炎	クローン病	がんの疑い又は未確定	その他		
40～44 歳	10	7	70.0	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0	3	
45～49 歳	16	14	87.5	3	0	5	2	4	0	0	0	0	0	2	
50～54 歳	21	19	90.5	9	0	4	1	3	0	1	0	1	0	2	
55～59 歳	18	14	77.8	4	2	8	0	0	0	0	0	0	0	4	
60～64 歳	29	28	96.6	6	0	11	1	3	0	0	0	1	6	1	
65～69 歳	41	39	95.1	11	3	19	3	1	0	0	0	1	1	2	
70 歳以上	312	278	89.1	40	14	141	37	21	0	2	0	14	9	34	
合 計	男	222	198	89.2	28	9	98	29	20	0	1	0	7	6	24
	女	225	201	89.3	47	10	93	15	14	0	2	0	10	10	24
	計	447	399	89.3	75	19	191	44	34	0	3	0	17	16	48

(エ) 肺がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢		対象者数	受診者数	再掲) 喀痰細胞 診検査	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40～44歳		5,809	228	0	3.9	2	0.9
45～49歳		7,756	294	0	3.8	0	0.0
50～54歳		7,412	322	4	4.3	5	1.6
55～59歳		5,301	314	7	5.9	3	1.0
60～64歳		4,326	352	8	8.1	4	1.1
65～69歳		4,185	571	8	13.6	10	1.8
70歳以上		18,906	3,734	42	19.8	113	3.0
合計	男	26,134	2,713	63	10.4	74	2.7
	女	27,561	3,102	6	11.3	63	2.0
	計	53,695	5,815	69	10.8	137	2.4

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢		要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	精密検査結果							未受診・未把握	
					異常所見なし	肺がん	良性肺腫瘍	肺結核			がんの疑い又は未確定		その他(転移性肺がんを含む)
								活動	不活動	治癒			
40～44歳		2	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49歳		0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54歳		5	5	100.0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
55～59歳		3	3	100.0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳		4	4	100.0	2	0	0	0	0	0	0	2	0
65～69歳		10	10	100.0	2	0	2	0	0	0	1	5	0
70歳以上		113	110	97.3	41	2	3	0	0	1	7	56	3
合計	男	74	71	95.9	29	2	3	0	0	1	2	34	3
	女	63	63	100.0	21	0	2	0	0	1	6	33	0
	計	137	134	97.8	50	2	5	0	0	2	8	67	3

(才) 前立腺がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
50～54 歳	3,943	163	4.1	6	3.7
55～59 歳	2,771	167	6.0	5	3.0
60～64 歳	2,170	160	7.4	9	5.6
65～69 歳	1,974	248	12.6	18	7.3
70 歳以上	8,228	1,644	20.0	162	9.9
合 計	19,086	2,382	12.5	200	8.4

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精 検者 数	精 検 受 診 者	精 検 受 診 率 (%)	精密検査結果					受 診 拒 否	未 把 握
				異 常 な し	前 立 腺 が ん	前 立 腺 肥 大 症	が ん 疑 い	そ の 他 の 疾 患		
50～54 歳	6	6	100.0	3	2	1	0	0	0	0
55～59 歳	5	4	80.0	1	0	0	3	0	1	0
60～64 歳	9	9	100.0	2	2	4	1	0	0	0
65～69 歳	18	16	88.9	3	4	4	5	0	2	0
70 歳以上	162	140	86.4	33	19	26	61	1	15	7
合 計	200	175	87.5	42	27	35	70	1	18	7

(カ) 子宮がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者 数	受診 者数	受診率 (%)	一次検査結果				要精検 率 (%)
				異常 なし	要精密 検査	要再 検査	その他 疾患	
20～24 歳	2,278	57	2.5	49	4	0	4	7.0
25～29 歳	2,093	76	3.6	71	2	0	3	2.6
30～34 歳	2,212	140	6.3	121	4	2	13	2.9
35～39 歳	2,469	181	7.3	153	6	0	22	3.3
40～44 歳	2,770	171	6.2	148	1	0	22	0.6
45～49 歳	3,747	197	5.3	148	7	1	41	3.6
50～54 歳	3,469	186	5.4	153	2	1	30	1.1
55～59 歳	2,530	142	5.6	127	0	0	15	0.0
60～64 歳	2,156	138	6.4	122	2	1	13	1.4
65～69 歳	2,211	104	4.7	97	0	0	7	0.0
70 歳以上	10,678	337	3.2	313	2	0	22	0.6
合 計	36,613	1,729	4.7	1,502	30	5	192	1.7

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精 検者 数	精 検受 診者	精 検受 診率 (%)	精密検査結果						未 受診・ 未把握
				異 常 所 見 な し	上 皮 内 病 変	頸 部 が ん	体 部 が ん	そ の 他 疾 患	が ん の 疑 い 又 は 未 確 定	
20～24 歳	4	3	75.0	1	2	0	0	0	0	1
25～29 歳	2	2	100.0	0	1	0	0	1	0	0
30～34 歳	4	4	100.0	1	1	0	0	1	1	0
35～39 歳	6	4	66.7	1	2	0	0	1	0	2
40～44 歳	1	1	100.0	0	1	0	0	0	0	0
45～49 歳	7	5	71.4	3	2	0	0	0	0	2
50～54 歳	2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	1
55～59 歳	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
60～64 歳	2	2	100.0	1	0	0	0	1	0	0
65～69 歳	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
70 歳以上	2	2	100.0	0	1	0	0	0	1	0
合 計	30	24	80.0	8	10	0	0	4	2	6

※要精検（体部のみ）を1件含む

(キ) 乳がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者	
				数	率 (%)
40歳未満	4,681	408	8.7	45	11.0
40～44歳	2,770	232	8.4	20	8.6
45～49歳	3,747	222	5.9	30	13.5
50～54歳	3,469	205	5.9	18	8.8
55～59歳	2,530	168	6.6	12	7.1
60～64歳	2,156	149	6.9	9	6.0
65～69歳	2,211	129	5.8	5	3.9
70歳以上	10,678	394	3.7	21	5.3
合計 (40歳未満含む)	32,242	1,907	5.9	160	8.4
合計 (40歳未満除く)	27,561	1,499	5.4	115	7.7

※30代は超音波検診、40歳以上はマンモグラフィによる検診

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率 (%)	精密検査結果				未受診・未把握
				異常所見なし	乳がん	がんの疑い又は未確定	その他	
40歳未満	45	44	97.8	21	0	0	23	1
40～44歳	20	18	90.0	11	0	1	6	2
45～49歳	30	29	96.7	11	0	1	17	1
50～54歳	18	18	100.0	1	1	0	16	0
55～59歳	12	11	91.7	5	1	0	5	1
60～64歳	9	8	88.9	5	1	0	2	1
65～69歳	5	5	100.0	4	0	0	1	0
70歳以上	21	21	100.0	12	4	0	5	0
合計 (40歳未満含む)	160	154	96.3	70	7	2	75	6
合計 (40歳未満除く)	115	110	95.7	49	7	2	52	5

イ 肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルスは、感染しても自覚症状に乏しいことから、感染に気付きにくく、適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがあるため、健康増進法に基づく健康増進事業による肝炎ウイルス検査を特定の対象者へ実施しています。

対象者：40～47歳で、これまで肝炎検査を受けたことがない方

クーポン対象者は、40歳の方（集団検診のみ）

・年度別実施状況

区分 年度	受診者数	再掲) クーポン	クーポン 対象者	クーポン 受診率 (%)
平成30年	197	106	1,212	8.7
令和元年	163	104	1,132	9.2
令和2年	15	0		
令和3年	162	138	1,642	8.4
令和4年	108	63	1,025	6.1

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集団検診中止

・令和4年度年代別実施状況

(単位：人)

区分 年齢	受診者数	再掲) クーポン	B型		C型	
			陰性	陽性	陰性	陽性
40～44歳	73	63	73	0	73	0
45～49歳	3		3	0	3	0
50～54歳	5		5	0	5	0
55～59歳	8		8	0	8	0
60～64歳	4		4	0	4	0
65～69歳	10		10	0	10	0
70歳以上	5		5	0	5	0
合計	108	63	108	0	108	0

ウ 30・35歳健診

30歳・35歳の者を対象に健康診査を行い、若い世代から生活習慣病の予防に努めることにより、自分の健康への関心を高めます。

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
平成30年	1,980	165	39	77	0	49
令和元年	1,896	149	26	71	9	43
令和2年	中止					
令和3年	3,768	296	41	132	10	113
令和4年	1,779	101	24	39	4	34

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ すこやか健診（生活保護受給者）

すこやか健診を行うことにより、生活習慣病、要介護状態等になることを予防します。

（単位：人）

区分 年度	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
平成 30 年	8	0	5	0	3
令和元年	8	0	3	0	5
令和 2 年	中止				
令和 3 年	2	0	0	0	2
令和 4 年	6	0	1	0	5

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

オ 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は自覚症状がないことが多く、患者自ら病気に気づくことが難しいため、早期に予防や治療に取り組むために、健康増進法に基づく健康増進事業による骨粗しょう症検診を特定の対象者に実施しています。

対象者：20～70 歳の女性で、前年度あま市骨粗しょう症検診を受診していない方

（市の検診は 2 年に 1 回）

・年度別実施状況

区分 年度	受診者数 (人)
平成 30 年	157
令和元年	150
令和 2 年	
令和 3 年	
令和 4 年	85

※令和 2 年度・令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・令和 4 年度年代別実施状況

（単位：人）

区分 年齢	受診者数	異常なし	要指導	要精検者 数	要精検率 (%)
20～24 歳	0	0	0	0	0.0
25～29 歳	0	0	0	0	0.0
30～34 歳	0	0	0	0	0.0
35～39 歳	0	0	0	0	0.0
40～44 歳	3	2	1	0	0.0
45～49 歳	5	5	0	0	0.0
50～54 歳	14	8	6	0	0.0
55～59 歳	15	6	8	1	6.7
60～64 歳	13	3	5	5	38.5
65～69 歳	28	12	13	3	10.7
70 歳	7	3	3	1	14.3
合計	85	39	36	10	11.8

(3) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、家庭における健康管理を支援します。

ア 健康相談、栄養相談

区分 年度	健康相談		栄養相談
	実施回数 (回)	相談者数 (人)	
平成30年	18	405	28
令和元年	19	395	5
令和2年	随時	0	4
令和3年	随時	125	10
令和4年	随時	235	3

イ 精神保健福祉相談

(単位：人)

区分 年度	相談							訪問						
	実人数	延人数	内訳					実人数	延人数	内訳				
			ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害			ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	
平成30年	15	40	0	/	0	0	0	1	2	0	0	0	0	
令和元年	13	48	2	/	4	0	0	3	6	0	5	0	0	
令和2年	15	27	0	0	5	0	0	2	2	0	1	0	0	
令和3年	8	13	0	0	1	0	0	5	19	0	0	0	0	
令和4年	20	47	3	0	2	0	0	8	11	0	2	0	0	

区分 年度	電話・電子メール					
	延人数	内訳				
		ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
平成30年	25	0	/	2	0	0
令和元年	42	3	/	2	0	0
令和2年	90	1	0	12	0	0
令和3年	107	0	0	2	0	0
令和4年	181	2	0	9	0	0

(4) 健康教育

生活習慣病の予防や、その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を支援します。

ア 集団健康教育

(ア) 託児付き運動教室

令和3年度まで運動実技（軽体操やストレッチ）と健康に関する講話を行っており、子育て世代が参加しやすいよう託児を実施しました。令和3年度からバランスボールを利用した運動も取り入れ、教室名をヘルスアップ教室から「バウンス教室」に変更しました。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
平成30年	6	101	ヘルスアップ教室
令和元年	6	80	
令和2年	6	55	
令和3年	6	63	バウンス教室

(イ) 健康教室（食生活・調理実習）

令和3年度まで各疾患（高血圧、貧血）を予防するための栄養講話、調理実習疾患ごとの栄養講話と調理実習を実施しました。

区分 年齢	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成30年	4	60
令和元年	3	34
令和2年	中止	
令和3年	中止	

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(ウ) いきいき体操

DVDによる体操やエアロビ等を実施し、健康増進・体力向上を目指します。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成30年	145	1,649
令和元年	128	1,401
令和2年	62	387
令和3年	64	369
令和4年	128	1,187

イ 乳がん自己検診法指導

乳がんの自己検診の効果を上げ、がんの早期発見につなげるため、乳がん検診を実施した方へ自己検診の方法の指導を行います。

区分 年度	参加者数 (人)
平成30年	1,296
令和元年	1,283
令和2年	
令和3年	
令和4年	841

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 骨粗しょう症栄養指導

骨粗しょう症を予防するため、骨粗しょう症検診の結果、要指導または要精検になった方へ栄養指導を行います。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成30年	4	71
令和元年	4	51
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	4	42

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(5) がん患者アピアランスケア支援事業

令和4年7月から、がんに罹患された方の経済的負担を軽減するために、がん治療によるアピアランス（外見）の変貌を補完する補整具（ウィッグや乳房補整具）の購入費用の一部を助成しています。

区分 年度	申請者数（人）	
	ウィッグ	乳房補整具
令和4年	18	8

(6) 家庭訪問

療養上の保健指導が必要である家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行うことで、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ります。

(単位：人)

区分 年度	要指導者等		個別健康教育		閉じこもり予防		介護家族者		寝たきり		認知症		その他	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
平成30年	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2
令和元年	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

4 高齡者保健事業

1 高齢者保健事業（一般介護予防）

高齢者に対する運動器・口腔の機能向上や栄養の改善を図り、身体機能の維持及び閉じこもりや要介護状態になることを予防するための事業として、「健康相談」、「はつらつクラブ」、「ワクワクからだ教室」を実施しています。

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和4年度
				最終実績(人)
1	健康相談	38回	6か所 保健師による血圧測定・個別相談	205
2	はつらつクラブ	66回	6か所 軽体操・ストレッチ・レクリエーション、健康チェック及び歯科医師の講話で口腔機能の必要性を通し、口腔機能の健診の紹介や口腔体操の実践、低栄養予防についての講話	700
3	ワクワクからだ教室	33回	3か所 転倒・骨折予防のための体操	261
4	一体的事業 フレイル予防教室	随時	保険医療課・高齢福祉課・健康推進課、社会福祉協議会、あま市民病院による高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施フレイル予防教室	236人 /9回
5	低栄養予防 資料配布	随時	はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、いきいき体操、一体的事業など各種講座において低栄養予防冊子を配布・啓発	322

2 高齢者保健事業（一般介護予防）詳細

(1) 健康相談

健康について悩み事や不安がある高齢者へ、会場に来所してもらい、保健師による血圧測定と健康相談を実施し、高齢者の健康の保持増進を図ります。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	対象者	内容
平成 30 年	38	362	65 歳以上	保健師による血圧測定・健康相談
令和元年	35	307		
令和 2 年	13	62		
令和 3 年	27	98		
令和 4 年	38	205		

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数 (人) / 実施回数					
	人権ふれあいセンター	本郷憩の家	森憩の家	新居者憩の家	七宝老人福祉センター	美和総合福祉センター すみれの里
平成 30 年	19/2 回	50/4 回	53/4 回	51/4 回	60/12 回	129/12 回
令和元年	16/2 回	52/4 回	41/4 回	33/3 回	54/11 回	111/11 回
令和 2 年	7/1 回	5/1 回	11/1 回	13/2 回	4/4 回	22/4 回
令和 3 年	8/1 回	18/4 回	11/2 回	15/3 回	0/9 回	46/8 回
令和 4 年	11/2 回	27/4 回	34/4 回	39/4 回	4/12 回	90/12 回

※令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

(2) 運動教室

ア はつらつクラブ

軽い体操に加え、口腔や栄養の話や教室の参加者同士で交流することで、心身の健康づくりを図ります。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成 30 年	96	1,041
令和元年	88	817
令和 2 年	24	126
令和 3 年	39	265
令和 4 年	66	700

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数（人）/実施回数							
	坂牧コミュニティ防災センター	上萱津コミュニティ防災センター	下萱津コミュニティ防災センター	正則防災コミュニティセンター	篠田防災コミュニティセンター	七宝保健センター	美和保健センター	甚目寺保健センター
平成 30 年	87/12 回	74/12 回	29/12 回	53/12 回	199/12 回	226/12 回	188/12 回	185/12 回
令和元年	74/11 回	65/11 回	48/11 回	32/11 回	123/11 回	169/11 回	174/11 回	132/11 回
令和 2 年	14/4 回	9/4 回			29/4 回	15/4 回	38/4 回	21/4 回
令和 3 年	38/8 回	40/8 回			77/8 回	46/8 回	40/4 回	24/3 回
令和 4 年	67/11 回	48/11 回			146/11 回	178/11 回	166/11 回	95/11 回

※令和元年度から令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

イ ワクワクからだ教室

はっらっクラブより運動強度が高く、体を動かすことを中心とした教室により、ストレッチ・体操で筋肉や骨の増強を図ります。令和 3 年度から教室名を「筋力アップクラブ」から「ワクワクからだ教室」に変更しました。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
平成 30 年	48	1,558	筋力アップ教室
令和元年	32	791	
令和 2 年	12	104	
令和 3 年	26	154	ワクワクからだ教室
令和 4 年	33	261	

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数（人）/実施回数					
	本郷憩の家	森憩の家	新居者憩の家	七宝保健センター	美和保健センター	甚目寺保健センター
平成 30 年	332/12 回	411/12 回	443/12 回	372/12 回		
令和元年				305/11 回	109/10 回	377/11 回
令和 2 年				26/4 回	10/4 回	68/4 回
令和 3 年				73/9 回	32/8 回	49/9 回
令和 4 年				84/11 回	127/11 回	50/11 回

※令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

(3) 一体的事業 「フレイル予防教室」

令和3年度から保険医療課、高齢福祉課、健康推進課による高齢者の保健事業と介護予防が一体となったフレイル予防教室を実施しています。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和3年	5(7)	86(122)
令和4年	9(14)	236(345)

※令和4年度は、「笑って元気スクール」として実施

()内は他課実施分を含む全体数

(4) 低栄養予防の周知・啓発

令和3年度まで、低栄養予防の料理教室を実施していました。令和4年度からは、低栄養予防の必要性についての周知・啓発のため、教室（はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、いきいき体操、一体的事業）参加者に対し、低栄養予防の冊子を配付しています。

ア 低栄養予防の栄養教室

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
平成30年	3	33	男性料理教室
令和元年	3	46	しっかり食べよう！お惣菜活用術
令和2年	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止		
令和3年	2	5	かんたん調理で長生きごはん

イ 低栄養予防の冊子配布

区分 年度	配布数 (人)
令和4年	322

5 齒科保健事業

1 歯科保健事業

乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、歯科口腔保健を推進するため、母子・成人・高齢者のライフステージに合わせた歯科医師による診察や歯科衛生士による相談事業、歯みがき教室等を実施しました。

NO	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和4年度
					最終実績 (人)
1	マタニティ教室 (歯 科 編)	12回	妊婦とその夫	歯科医師の診察、相談 、講話	44
2	0歳児歯科健診	32回	3～11か月児	歯科医師の診察、個別 相談	488
3	1歳6か月児 健康診査	30回	1歳6～11か月児	歯科医師の診察、個別 相談	678
4	2歳児歯科 健康診査	26回	2歳0～1か月児	歯科医師の診察、歯み がき指導、フッ素塗布 、個別指導、保健指導	639
5	2歳児歯科 事後健診	0回	2歳児歯科健診で 経過観察が必要に なった児	歯科医師の診察、フッ 素塗布、歯みがき指導 、個別相談	0
6	3歳児健康診査	31回	3歳1～2か月児	歯科医師の診察、個別 指導	719
7	もぐもぐ 歯っぴい教室	11回	9か月頃	9か月頃以降の離乳食 の話、むし歯予防の話 ・歯のお手入れ方法、 親子遊び	97
8	子育て相談 (歯 科)	36回	乳幼児	全年齢を対象に歯科衛 生士による歯みがき指 導、口腔内全般の個別 相談	71
10	歯みがき教室	4回	小中学生	児童、生徒に対して、 歯みがき指導、むし歯 ・歯肉炎予防等の話	145
11	学校保健委員会	2回	小中学生とその保 護者	児童、生徒、保護者に 対して生活習慣、歯み がき指導、むし歯・歯 肉炎予防等の話	37
12	前期歯の 健康センター	4年に 3回	乳幼児(就学前) と保護者	歯科健康教育、親子歯 科健診、歯科相談	45/1回
13	歯科相談	随時	希望者	個別の歯科相談	4

2 歯科保健事業詳細

(1) 母子歯科保健事業

乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さや成長に伴う口腔機能の発達について、乳幼児健診での歯科診察や教室での講話で周知し、歯と口腔の発育の確認・支援を行っています。

ア マタニティ教室（妊婦歯科健診）

区分 年度	対象者数 (人)	実施回数 (回)	受診者数 (人)		妊婦									
					現在 歯数 (本)	健全 歯数 (本)	未処置 歯数 (本)	C P I コード(人)						
								歯肉出血			歯周ポケット			
								無	有	診査 不可	無	5mm 以下	6mm 以上	診査 不可
平成 30 年	664	19	78	7	2,222	1,744	15	57	21	0	65	13	0	0
令和元年	725	15	76	15	2,148	1,668	33	44	32	0	56	20	0	0
令和 2 年	660	9	34	4	976	844	5	25	9	0	28	6	0	0
令和 3 年	615	6	18	3	505	434	11	10	8	0	15	3	0	0
令和 4 年	584	12	40	4	1,140	1,004	7	31	9	0	26	14	0	0

(注) 用語の説明 C P I コード 0 : 歯周疾患なし C P I コード 1 : 歯肉出血あり

2 : 歯石

C I P コード 3 : 浅い歯周ポケット (4~6mm 未満)

C I P コード 4 : 深い歯周ポケット (6mm 以上)

イ 0歳児歯科健診

成長が著しい乳児期に対する口腔の健診の中で、歯科医師による適切な指導と、経過観察の指示を行う事により、保護者の不安を軽減し、正常な口腔の発達を促す効果を得るため、令和2年度から「0歳児歯科健診」を実施しています。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数	受診者数	受診率 (%)	所見あり
令和 2 年	25	455	315	69.2	32
令和 3 年	38	681	535	78.6	49
令和 4 年	32	614	488	79.5	47

・令和4年度詳細結果

(単位：人)

対象者 数	受診者 数	口腔の発達							
		吸啜窩 不明瞭	顎間空隙 不明瞭	顎非対 称性	小下顎 症	下顎前 突			
614	488	0	10	0	0	0			
摂食嚥下機能発達					軟組織 (歯肉、口唇周囲)				
哺乳反 射制限	舌の運 動制限	顎の開 閉制限	舌小帯 強直	口唇閉 鎖不全	先天性 歯	リガフ エーデ	上皮真 珠	ヘルペス性 歯肉口炎	口唇口 蓋裂
0	0	0	3	0	0	0	34	0	0

ウ 1歳6か月児歯科健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
平成30年	32	698	683	97.9	0.9	0.03
令和元年	32	697	685	98.3	0.7	0.01
令和2年	29	718	694	96.7	1.0	0.02
令和3年	33	789	790	100	0.8	0.02
令和4年	30	696	678	97.4	0.1	0.01

・令和4年度詳細結果

(単位：人)

対象者 数	受診者 数	う蝕数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				01型	02型	A型	B型	C型
696	678	4	0	300	377	1	0	0
歯列・ 咬合異常	軟組織 異常	口腔の その他の 異常	歯垢付着					
82	78	41	34					

(注) 用語の説明

う蝕罹患型 01型:う蝕がなく、かつ口腔環境がよい。

う蝕罹患型 02型:う蝕がないが口腔環境が悪いため、近い将来う蝕発生が予想される。

う蝕罹患型 A型:上顎前歯部のみ、または臼歯部のみう蝕があるもの。

う蝕罹患型 B型:上顎前歯部及び臼歯部にう蝕があるもの。

う蝕罹患型 C型:下顎前歯部を含む、他の部位にう蝕があるもの。

エ 2歳児歯科健康診査

う蝕などの歯科疾患の早期発見及びう蝕の予防、歯科保健の向上を図ることを目的とし、歯科医師の診察や歯みがき指導、希望者に対するフッ化物の塗布を行います。

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
平成30年	24	690	630	91.3	1.9	0.05
令和元年	22	724	644	89.0	3.4	0.11
令和2年	18	710	462	65.1	1.9	0.04
令和3年	29	728	661	90.8	2.3	0.07
令和4年	26	709	639	90.1	1.1	0.02

・令和4年度詳細結果

(単位：人)

対象者数	受診者数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				01型	02型	A型	B型	C型
709	639	14	2	246	386	6	0	1
歯垢付着	フッ化物 塗布							
159	462							

オ 2歳児事後健診

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
平成30年	13	68	33	48.5	9.1	0.30
令和元年	13	55	26	47.3	19.2	0.81
令和2年	7	14	5	35.7	20.0	0.20
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	0	0	0	0	0	0

カ 3歳児歯科健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
平成30年	36	754	736	97.6	9.4	0.34
令和元年	32	704	678	96.3	7.8	0.22
令和2年	31	717	695	96.9	8.2	0.32
令和3年	33	780	761	97.6	8.1	0.28
令和4年	31	726	719	99	7.1	0.19

・令和4年度詳細結果

(単位：人)

対象者数	受診者数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				0型	A型	B型	C1型	C2型
726	719	134	11	668	42	7	1	1
反対咬合 (下顎前突)	上顎前突 (過蓋咬合)	開咬	その他の 歯列・ 咬合異常	小帯異 常	歯肉異 常	その他の 軟組織 異常	歯の形態 異常・ 歯数異常	口腔の その他の 異常
48	38	17	24	51	5	1	50	3
歯垢付着	指しゃぶり おしゃぶり							
51	27							

キ もぐもぐ歯っぴい教室

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	対象者数	参加者数	参加率 (%)	再掲) 健診 事後指導
平成 30 年	24	745	237	31.8	3
令和元年	22	584	176	30.1	0
令和 2 年	12	468	56	12.0	0
令和 3 年	9	434	37	8.5	0
令和 4 年	11	832	97	11.7	0

ク 子育て相談 (歯科)

区分 年度	参加者数 (人)
平成 30 年	108
令和元年	81
令和 2 年	64
令和 3 年	51
令和 4 年	71

ケ 保育園・幼稚園歯みがき教室

幼児期に歯と口腔の健康に関する正しい知識を普及し、生涯にわたる歯及び口腔の保持増進に必要な基本的な保健行動を身につけ、適切な歯みがきや 習慣の定着を図るために、園児の歯科教室を開催しています。

・年度別実施状況

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	再掲) 保育園 (回)	再掲) 幼稚園 (回)	乳児	年少	年中	年長	保護 者	【参考】 保育園数 (園)
平成 30 年	22	19	3	50	381	460	421	212	12
令和元年	22	19	3	68	406	391	478	227	12
令和 2 年	中止								
令和 3 年	11	9	2			65	334		10
令和 4 年	11	9	2		51	98	358		11

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

・令和4年度 よい子の歯みがき教室（保育園）

（単位：人）

実施日	実施場所	参加者内訳			
		乳児	年少	年中	年長
12月1日(木)	正則保育園				26
12月2日(金)	萱津保育園				17
12月6日(火)	七宝北部保育園				22
12月12日(月)	篠田保育園				28
12月14日(水)	聖徳保育園				24
12月19日(月)	五条保育園				17
1月11日(水)	新居屋保育園				26
1月18日(水)	昭和保育園				59
1月26日(木)	大花保育園				31
合計		0	0	0	250

・令和4年度 歯みがき教室（幼稚園）

（単位：人）

実施日	実施場所	参加者内訳			
		乳児	年少	年中	年長
6月20日(月)	中川幼稚園		51	38	47
10月26日(水)	美和こども園			60	61
合計		0	51	98	108

コ 歯みがき教室（小・中学校）

・年度別実施状況

区分 年度	実施場所	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成30年	小学校	13	368
	中学校	6	199
令和元年	小学校	13	355
	中学校	5	175
令和2年	小学校	12	326
	中学校	5	168
令和3年	中学校	6	190
令和4年	中学校	4	145

・令和4年度実施状況

実施日	実施場所	対象学年	クラス数 (組)	参加人数 (人)
9月26日(月)	甚目寺南中学校	2年生	2	75
9月27日(火)			2	70
合計			4	145

サ 学校保健委員会

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
平成 30 年	2	34
令和元年	2	32
令和 2 年	2	32
令和 3 年	1	16
令和 4 年	2	37

・令和 4 年度実施状況

実施日	実施場所	参加人数 (人)
6 月 16 日(木)	甚目寺南中学校	19
2 月 2 日(木)		18
合計		37

シ 前期歯の健康センター

歯と口腔の健康週間の事業として、歯の健康センター（歯科診察・歯科相談）を保健センターで実施しています。令和 4 年度からは予約制となりました。

区分 年度	会場	参加人数 (人)
平成 30 年	美和保健センター	128
令和元年	甚目寺保健センター	196
令和 2 年	中止	
令和 3 年	中止	
令和 4 年	七宝保健センター	45

※令和 2 年度・令和 3 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

(2) 成人歯科保健事業

成人歯科健診を実施し、歯周疾患・口腔疾患・むし歯の健診を行うことで、治療につなげ、歯と口腔の健康づくりの意識向上につなげています。また、がん検診または30・35歳健診と同時に成人歯科健診を行い、健診を受けやすい体制を整えています。

成人歯科健診（歯と口腔の健診）

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	受診者数 (人)
平成30年	23	1,280
令和元年	23	1,147
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	3	66

※令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

・令和4年度実施状況

区分 年齢	受診者数 (人)	現在歯数 (本)	(再掲) 第3大臼歯 (本)	軟組織異常 者数 (人)	1人平均 現在歯数 (本)
18歳～39歳	11	315	7	0	28.6
40歳～44歳	3	85	1	0	28.3
45歳～49歳	2	56	0	0	28.0
50歳～54歳	1	25	0	0	25.0
55歳～59歳	1	28	0	0	28.0
60歳～64歳	1	28	0	0	28.0
65歳～69歳	0	-	-	-	-
70歳～74歳	6	156	1	0	26.0
75歳～79歳	41	996	14	1	24.3
合計	66	1,689	23	1	25.6

(3) 高齢者歯科保健事業

80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進し、口腔機能の維持・向上や、機能減退による誤嚥・窒息の防止のために、歯科医師による講話や口腔体操の啓発を実施しています。

ア はつらつクラブ（歯科のコマ）

区分 年度	実施回数 (回)	参加人数 (人)
平成30年	8	99
令和元年	8	77
令和2年	中止	
令和3年	2	14
令和4年	6	59

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

イ 10020・9020・8020表彰

80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進するため、80歳以上で20本以上の歯がある方に対し、表彰を行っています。

また、令和元年度から70歳以上で21本以上歯がある方が増えてきたため、7021表彰を廃止し、新たに90歳以上で20本以上歯がある方の9020表彰を行うこととしました。

(単位：人)

区分 年度	10020 表彰者数			9020 表彰者数			8020 表彰者数			7021 表彰者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成30年	0	1	1				20	10	30	9	3	12
令和元年	0	0	0	2	1	3	10	10	20			
令和2年	1	0	1	0	1	1	5	6	11			
令和3年	0	0	0	2	1	3	18	19	37			
令和4年	0	1	1	1	3	4	19	29	48			

ウ 健口体操資料配布

平成30年度より、あま市民生委員の協力を得て、65歳以上の世帯に対し、健口体操の配布を実施しています。

区分 年度	配布数 (人)
平成30年	11,032
令和元年	10,940
令和2年	10,423
令和3年	10,968
令和4年	10,451

エ あま市歯と口腔保健推進協議会

区分 年度	実施回数 (回)
平成30年	1
令和元年	1
令和2年	1(書面)
令和3年	1(書面)
令和4年	1

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、書面会議で実施

6 健康増進事業

1 健康増進事業

壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図るとともに介護を要する状態に陥ることを予防し、自立の促進と援助のため、健康づくりに関する事業を実施しています。

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和4年度
				最終実績(人)
1	健康マイレージ事業	6～12月	市民等の自主的な健康づくり活動を支援 【一般コース】市民等を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ(20ポイント)獲得者へ「優待カード」及び抽選で「健康グッズ」等を贈呈	1,241 (内アプリ 54人)
			【小中学校コース】児童・生徒・保護者を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ(30ポイント)獲得者の人数に応じて、学校へ交付金を交付	10,689
2	健康づくり応援店	通年	野菜摂取量促進メニューの促進、食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただく店舗を登録し、周知を図る	新規店舗数 5
3	ウォーキングあま	11回	ウォーキングボランティアが作成したウォーキングマップを使用して市内10コースのウォーキングコースを散策	149 /10回
4	Mr. あーまん (動画配信)	通年	働く世代を中心に子どもから高齢者まで家庭で出来る健康体操の配信	1,500回
5	あま体操 普及啓発 (啓発及び動画配信)	啓発 随時	「ずっとWe Love あま体操！」を市民体操として啓発	啓発回数 27回
		動画配信 通年		再生回数 7,000回
6	園児の防煙教室	13回	市内保育園・幼稚園・認定こども園の年長児を対象に受動喫煙防止の推進を図る	404 /13回
7	出前講座	随時	健康づくり、感染症予防等に関する講座	173/7回
8	生き生き推進隊 活動支援		あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育計画の推進するためのサポーターを育成し、その活動を支援 ・健康に関する勉強会 ・研修の企画 ・議事録の作成 ・計画した活動をする場の提供 ・自主活動に向けた助言指導	37回
9	食生活改善 推進員活動支援		地域の健康づくりの食育活動を推進していくための、ボランティアの活動を支援 ・保健事業協力への助言、保健事業協力金の交付 ・総会準備 ・研修の企画 ・県食生活改善推進員協議会の依頼事業に対する助言、協力 ・定例会の資料の作成	16回

2 第2次あま市健康づくり計画

「第1次あま市総合計画」の将来像の実現に向けて、健康づくりの分野においては、『心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち』を基本目標として、全ての市民が自らの健康についての自覚を深め、継続的で主体的な健康づくりに取り組めるよう支援することとしています。本計画においてもこの理念を継承し、個人・家庭や関係機関・地域、行政を含めた地域社会のみなんで、楽しく健康づくりに取り組む活力あるまちを目指します。

<基本理念>

『市民自ら健康づくりに取り組み、心身ともに健やかで、いきいきと笑顔で暮らせるまちづくり』

(1) 健康マイレージ

あま健康マイレージを実施することにより、市民一人ひとりが生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組めるよう、行政・企業・市民が連携し、社会全体で個人の健康を支え、守るための環境を整えます。令和2年度以降は、健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」からも一般コースに参加できるようになりました。令和3年度からは、健康グッズの当選者数を拡大することで、市民の健康づくりへの意識づけを強化した結果、健康マイレージ事業への参加者は増加傾向にあります。

・事業概要

コース名	一般コース	小中学校コース
対象者	市内在住・在勤・在学者	市内小中学校在学者、その同居家族
実施期間	6月1日～12月中旬	6月1日～9月30日
事業内容	健康づくりにつながる取組みを実践、市の主催する健康に関するイベント等に参加すると、マイレージ(ポイント)を獲得でき、20ポイント獲得者に優待カードを交付するとともに、健康グッズを抽選で交付する。	健康づくりにつながる取組みを実践、市の主催する健康に関するイベント等に参加すると、マイレージ(ポイント)を獲得でき、30ポイント獲得した人数に応じて、健康づくりに関する活動等に使用可能な交付金を学校に支給する。

・年度別実施状況

(単位：人)

区分 年度	一般コース	小中学校コース
平成30年	964	6,414
令和元年	1,071	8,115
令和2年	809	7,349
令和3年	994	8,167
令和4年	1,241	10,689

・年代別実施状況（一般コース）

（単位：人）

区分 年度	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代～		不明	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
平成30年	23	17	9	16	12	28	29	60	25	42	43	130	161	369		964
令和元年	23	20	9	12	14	30	18	53	25	54	44	131	182	456		1,071
令和2年	31	24	7	18	15	23	21	44	26	44	23	75	138	319	1	809
令和3年	35	25	13	19	22	41	24	60	40	65	28	88	164	370		994
令和4年	35	45	17	28	26	46	47	85	54	99	42	94	182	441		1,241

（2）健康づくり計画の分野

ア 栄養と食生活

食事は生活習慣病と密接な関係があり、健康を維持・増進するためには欠かすことができないため、ライフステージ別に応じた栄養指導や相談、栄養と食生活に関する正しい知識の普及を実施しています。また、食生活改善推進員や生き生き推進員によるレシピ作成や栄養講座の実施の支援も行っています。

主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期・乳幼児期に向けたマタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室の実施 ・栄養士による個別相談 ・食生活改善推進員による親子ふれあいクッキング、男性料理教室の実施 ・「あまのわ」でのミニ講座コーナーで栄養講座実施 ・食生活改善推進員考案のレシピを広報掲載 ・“たっぷり野菜♥あまごはん”「健康づくり応援店」の周知 ・栄養についてのリーフレット配布 ・食生活改善推進員・生き生き推進隊の活動支援

（ア）健康づくり応援店

市民の健康づくりを推進することを目的とし、野菜をたくさん食べて健康的な生活を送れる環境づくりの一環として「野菜をしっかり摂れるメニュー（たっぷり野菜♥あまごはん）」の提供店舗を紹介しています。

協力店については、ステッカーとのぼりをお渡し、市公式ウェブサイトや市広報で紹介をしています。

区分 年度	新規店舗数 (件)
令和4年	5

※たっぷり野菜♥あまごはん…1食の食事、野菜を120g以上（1日の目標摂取量350gの3分の1）を使用したメニュー

イ 身体活動と運動

身体活動と運動による健康づくりの普及啓発を図るため、ウォーキングあまや健康づくりについての出前講座を実施しています。新たな取組として、あま市政10周年記念事業で作成された市の歌「ずっと We Love あま！」の曲に合わせた「ずっと We Love あま！体操」を令和2年度に作成し、子どもからお年寄りまで、幅広い世代が自身の健康づくりに役立つ体操となっています。動画配信や出前講座においても、「ずっと We Love あま！体操」と「Mr. あーまん」による健康体操の周知をしています。

主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・「ずっと We Love あま！体操（以下あま体操）」周知 ・Mr.あーまんによる運動についての動画配信 ・ウォーキングあま、いきいき体操の実施 ・託児付きの教室や母子ともに参加できる運動教室の実施 ・生き生き推進隊によるあま体操啓発活動 ・生き生き推進員によるあまのわ・サロン会場での活動支援 ・高齢者向けの運動教室の実施 ・出前講座や介護予防教室（一体的事業）の実施

(ア) ウォーキングあま

年度	区分	実施回数 (回)	参加者数 (人)	ウォーキング名
平成30年		13	482	みんなで歩こう会、ウォーキングねぎぼうずあま
令和元年		10	259	ウォーキング あま
令和2年		4	69	
令和3年		1	14	
令和4年		10	149	

(イ) 動画配信

- ・Mr.あーまん（健康体操）

年度	区分	再生回数 (回)	体操の種類 (テーマ)
令和4年		1,500	肩こり予防、腰痛予防、膝痛予防

(ウ) あま体操普及啓発

- ・あま体操普及啓発

年度	区分	あま体操 普及啓発 (回)
令和4年		27

・あま体操普及啓発動画

区分 年度	再生回数 (回)
令和4年	7,000

ウ こころの健康づくり

こころの健康は、生活の質を大きく左右する要素であり、いきいきと自分らしく生きるための重要な条件となります。不安や悩みを抱え込まないように、相談体制の充実や相談窓口の周知を行っています。また、ゲートキーパーの養成や自殺予防の街頭啓発を行い、住民の方へこころの健康を保つための知識を普及・啓発しています。

主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター・子育てコンシェルジュの紹介 ・定期的（月1回ほど）に要支援検討会を開催 ・ふたごちゃんみつごちゃん交流会開催 ・臨床心理士による心理相談や精神科医による相談会実施 ・市内中学校・小学校で統一したSOSの出し方教育 ・自殺予防の周知啓発（街頭啓発等） ・自殺対策強化月間（3月）の通勤・通学時間帯に街頭啓発を実施 ・ゲートキーパー養成講座の実施 ・「あま安心ダイヤル」や「困ったときの相談窓口」の周知

エ たばこ

たばこの害や影響についての周知・啓発や禁煙希望者に対し、禁煙外来等がある医療機関の周知を行っています。令和元年度から、幼少期からたばこによる身体への影響について学ぶため、市内保育園・幼稚園・こども園を対象に「防煙教室」を実施しています。

主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止のリーフレット配布、ポスター掲示 ・乳幼児健診・肺がん検診時に喫煙に関する注意喚起（リーフレット？） ・防煙教室の実施（幼稚園・保育園等） ・禁煙外来や禁煙相談について周知 ・市公式ウェブサイトにてたばこの害や影響についての情報を掲載

・園児の防煙教室

区分 年度	実施回数 (回)	再掲) 公立 保育園(回)	再掲) 幼稚園・ その他(回)	参加者数 (人)
令和元年	9	9	0	366
令和2年	9	9	0	291
令和3年	9	9	0	241
令和4年	13	9	4	404

オ アルコール

飲酒による身体への影響や適正飲酒量を周知するため、広報による適正飲酒量の普及啓発や「あまのわ」でアルコールパッチテストを実施しています。また、妊娠期・授乳期での飲酒については、胎児や乳児の脳や体の発育に影響を及ぼす恐れがあるため、母子健康手帳交付時に個別面接を実施し、正しい知識の周知を行っています。

主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・適正飲酒量の周知（1歳6か月児健診、広報等） ・多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響、アルコール依存症についての周知 ・あまのわ、成人式でアルコールパッチテスト実施 ・飲酒による妊婦、胎児への影響の周知

カ 健康管理

疾病の早期発見・早期治療や必要な支援につなげるため、市民自身や子どもの健康管理の促進を図り、乳幼児健診やがん検診等の必要性を周知しています。

健診結果や心身発達状況を基に、適宜、個別相談や訪問、面接を行うことで、きめこまやかな保健指導を実施しています。

主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診や心身発達把握の必要性の周知、勧奨 ・予防接種未接種者への個別通知 ・要支援妊婦へのマタニティ教室、電話相談、面談、訪問勧奨 ・医療ネグレクト児に対し、関係機関と連携、適宜訪問・面接による支援 ・がん検診の実施 ・乳がん・子宮がんクーポン検診未受診者への勧奨 ・要精密検者の精密検査未受診者に対して、各医療機関と連携し、再通知や個別勧奨の実施 ・健康に対する個別相談の実施 ・活き生き推進隊による適正体重の周知 ・活き生き推進員の役員会や定例会の開催

キ 出前講座

区分 年度	実施 回数 (回)	参加 者数 (人)	内容						
			健口 体操	あま 体操	コツコツ 貯めよう カルシ ウム	ロコモ 教室	あま市 の健康 課題と 取組	こころ の健康	その他
平成30年	7	361			3	3			1
令和元年	6	262				5		1	
令和2年	3	47		2		1			
令和3年	5	107		1		1	3		
令和4年	7	173	2	1		4			

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座回数減少

3 生き生き推進隊活動

生き生き推進隊は、「あま市健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画」を推進し、心身ともに健やかで、生き生きと笑顔で暮らせるまちづくりの実現に寄与することを目的としたサポーターとして、市が実施する保健事業への協力や健康づくりに関する知識の普及・啓発を行っています。

ア 年度別生き生き推進隊員数

区分 年齢	隊員数 (人)
平成 30 年	78
令和元年	50
令和 2 年	38
令和 3 年	18
令和 4 年	22

イ 令和 4 年度 主な活動の内訳

事業名	実施回数	活動内容
あま体操の啓発	27 回	サロンや保育園等でのあま体操講座
あまのわ	1 回	あま体操ステージ発表、適正体重周知

ウ 令和 4 年度 その他の活動

事業名	実施回数	生き生き参加者数 (人)	内容
役員会	9 回	54	実績報告、事業計画
定例会	13 回	160	活動内容についての話し合い、活動の準備、歴史ウォーキング、電子レンジレシピの作成

※延べ人数

4 食生活改善推進員

食生活改善推進員は、市内在住で、食を通じた健康づくり活動に興味のある方が所属しており、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、バランスのとれた食生活の定着を目的とした市への支援活動や自主的な活動の両面から活動を行っています。

ア 年度別食生活改善推進員数

区分 年齢	推進員数 (人)
平成30年	35
令和元年	29
令和2年	32
令和3年	27
令和4年	27

イ 令和4年度 主な活動の内訳

事業名	実施回数	活動内容
おやつ教室	2回	レシピ作成、調理補助
親子ふれあい教室	2回	レシピ作成、調理補助
男性料理教室	1回	レシピ作成、調理補助
あまのわでのミニ講座	1回	栄養講座
市広報へのレシピ掲載	4回	レシピ作成 (7月号、10月号、12月号、2月号)
健康都市連合日本支部総会・大会	2回	大会での発表、令和5年度に向けた見学
あま市観光協会主催「あまっこおむすびレシピコンテスト」への参加	1回	試食、コンテスト審査、表彰式参加

ウ 令和4年度 その他の活動

事業名	実施回数	食改参加者数 (人)	内容
総会	1回	13	実績報告、事業計画
役員会	7回	35	活動内容についての話し合い
あま市合同研修会	2回	28	管理栄養士とのレシピ試食会
定例会	七宝	13回	活動内容についての話し合い、支援事業の準備
	美和	11回	
	甚目寺	10回	

※延べ人数

5 健康都市連合、健康都市連合日本支部

・健康都市連合 (Alliance For Healthy Cities)

健康都市連合とは、WHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局の呼びかけで平成15年に創設された国際的なネットワークです。

都市に住む人の健康を守り、生活の質を向上させるため健康都市に取り組んでいる都市のネットワークを広げることで、各都市の経験を生かしながら、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的としています。

あま市は平成26年7月8日に正会員として加盟しました。

加盟状況

○世界11か国（令和3年6月現在） 195都市、48団体が加盟

○国内（令和4年6月現在） 35都市、6団体

・健康都市連合日本支部への加盟

健康都市連合日本支部は、健康都市連合に加盟していた沖縄県平良市（現宮古島市）・千葉県市川市・愛知県尾張旭市・静岡県袋井市の4市が発起人となり、平成17年に発足しました。

健康都市に関する情報を広く提供するとともに、健康都市の実現に賛同する都市等のネットワークを構築することにより、日本における各都市の地域特性に応じた健康都市の実現に寄与することを目的としています。

あま市は平成26年6月12日加盟し、令和5年度開催の第17回健康都市連合日本支部総会・大会の実施会場となっています。

加盟状況

○会員（令和4年4月現在）38都市、3団体

○県内の加盟 尾張旭市、名古屋市、大府市、北名古屋市、田原市、長久手市、あま市（平成26年6月加盟）、愛西市

健康都市連合日本支部総会等参加実績

年 度	総 会 名	日 時	会 場
平成30年	第14回健康都市連合日本支部総会及び大会	7月19・20日	千葉県松戸市
令和元年	第15回健康都市連合日本支部総会及び大会	7月30・31日	香川県高松市
令和2年	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
令和3年			
令和4年	第16回健康都市連合日本支部総会	8月4日	オンライン開催
	第16回健康都市連合日本支部大会	11月24日	大阪府泉佐野市

7 予防接種事業

1 予防接種事業

本市で実施する予防接種は、予防接種法（昭和 23 年法律第 68 号）の規定に基づく定期接種として、「BCG」、「4 種混合」、「日本脳炎」、「麻しん及風しん混合」等の子どもを対象とした予防接種と「高齢者インフルエンザ」、「高齢者肺炎球菌」等の高齢者を対象とした予防接種を実施しています。

令和 4 年度においては、平成 25 年 6 月から積極的勧奨が控えられてきた HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）の積極的勧奨の再開により、接種対象者である小学 6 年生から高校 1 年生相当の女子の他、キャッチアップ接種として、積極的勧奨が差し控えられてきた期間中に定期接種の対象者であった平成 9 年度生まれから平成 17 年度生まれまでの女子に対して、HPV ワクチン接種を実施しました。

また、高齢者インフルエンザ予防接種では、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を見据え、愛知県が自己負担額を助成し、高齢者のインフルエンザ予防接種の推奨を図ってきました。

NO	事業名	対象年齢・接種回数	令和 4 年度
			最終実績 (人)
1	B C G	1 歳に至るまで・1 回 (標準的な接種期間 生後 5 から 8 か月)	611
2	ヒブ感染症	生後 2 か月から 5 歳未満 (開始年齢によって接種回数が異なる)	2,499
3	小児の肺炎球菌感染症	生後 2 か月から 5 歳未満 (開始年齢によって接種回数が異なる)	2,500
4	B 型肝炎	1 歳に至るまで・3 回 (標準的な接種期間 生後 2 から 9 か月)	1,824
5	ロタウイルス感染症	ロタリックス：生後 6 週から 24 週まで ・2 回 ロタテック：生後 6 週から 32 週まで ・3 回 (ワクチンによって接種時期・回数が異なる)	1,349
6	不活化ポリオ (急性灰白髄炎)	生後 3 か月から 7 歳半まで・4 回	0
7	4 種混合	生後 3 か月から 7 歳半まで・4 回 (令和 5 年度から対象年齢が生後 2 か月からに変更)	2,482
8	2 種混合	小学校 6 年生 (11 歳以上 13 歳未満)・1 回	616
9	麻しん及び風しん混合 (M R)	1 期 (1 歳)、2 期 (5、6 歳)・各 1 回	1 期 675 2 期 663
10	水痘	1 歳から 3 歳に至るまで・2 回	1,285
11	日本脳炎	3 歳から 7 歳半まで・3 回 小学 4 年生 (9 歳から 13 歳未満) 追加接種・1 回 特例対象者 (平成 19 年 4 月 1 日以前生まれ。ただし、20 歳未満)	3,036

NO	事業名	対象年齢・接種回数	令和4年度
			最終実績 (人)
12	H P V 感染症 (子宮頸がん)	小学6年生から高校1年生相当の女子・3回 キャッチアップ対象者(平成9年4月2日～平成17年4月1日生まれの女子で、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない者)・1～3回	827
13	HPV感染症に係る 任意接種償還払	HPVワクチンの積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逃した人の中で、定期接種の対象年齢を過ぎてHPVワクチンの任意接種を受けた者・1～3回	14
14	高齢者 インフルエンザ	65歳以上及び60から65歳未満の身体障害者手帳 内部障害1級程度の者・1回	13,516
15	高齢者 肺炎球菌感染症	65・70・75・80・85・90・100歳以上及び60から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	753
16	大人の風しん (風しんの 追加的対策)	抗体保有率の低い世代(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)に対し、風しんの抗体検査を実施 抗体検査の結果、抗体が十分でないと確認できた者に対し、予防接種の実施	抗体検査 566 予防接種 110
17	大人の風しん (任意)	妊娠を予定又は希望している女性(妊婦を除く) ただし、風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でないと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で助成を受けたことがない者 接種費用一部助成	17
18	子ども インフルエンザ (任意)	平成19年4月2日～平成22年4月1日生・1回 平成22年4月2日～令和3年12月31日生・2回 接種費用一部助成(市単独事業)	8,045
19	特別の理由による 任意接種助成事業 (任意)	骨髄移植手術その他の理由により、免疫を失い、接種済みの定期の予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度、予防接種を受ける方に対し、予防接種に要する費用の一部を助成 接種日に20歳未満の方 ただし、4種混合は15歳未満、ヒブは10歳未満、小児の肺炎球菌は6歳未満、BCGは4歳未満の方	0

2 予防接種事業詳細

(1) 定期の予防接種（A類疾病）

定期の予防接種のうち、A類疾病については、人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、またはかかった場合の病状の程度が重篤になり、もしくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病であり、接種費用の全額を市が負担して行っています。

ア BCG

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	再掲) 集団	接種率 (%)
平成 30 年	751	752	16	730	100.1
令和元年	627	609	24	585	97.1
令和 2 年	720	795	88		110.4
令和 3 年	691	665	75		96.2
令和 4 年	644	611	57		94.9

※令和 2 年度から個別接種のみ

イ ヒブ感染症

(単位：人)

区分 年度	第 1 期 初回 1 回目				第 1 期 初回 2 回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
平成 30 年	689	675	73	98.0	701	695	76	99.1
令和元年	693	686	92	99.0	689	658	96	95.5
令和 2 年	718	686	82	95.5	714	721	89	101.0
令和 3 年	706	699	76	99.0	696	683	75	98.1
令和 4 年	601	605	54	100.7	619	618	61	99.8
区分 年度	第 1 期 初回 3 回目				第 1 期 追加			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
平成 30 年	717	714	78	99.6	757	751	72	99.2
令和元年	689	664	92	96.4	715	695	75	97.2
令和 2 年	713	714	89	100.1	712	732	101	102.8
令和 3 年	699	680	76	97.3	703	685	74	97.4
令和 4 年	636	610	61	95.9	704	666	43	94.6

ウ 小児肺炎球菌感染症

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	689	677	73	98.3	701	698	78	99.6
令和元年	693	690	92	99.6	689	678	99	98.4
令和2年	718	683	81	95.1	714	702	88	98.3
令和3年	706	700	76	99.2	696	685	75	98.4
令和4年	601	603	54	100.3	619	619	61	100.0
区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	717	713	78	99.4	752	739	70	98.3
令和元年	689	684	100	99.3	713	707	87	99.2
令和2年	713	701	84	98.3	714	706	90	98.9
令和3年	699	680	75	97.3	703	688	74	97.9
令和4年	636	613	61	96.4	713	665	43	93.3

エ B型肝炎

(単位：人)

区分 年度	1回目				2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	689	672	73	97.5	701	689	77	98.3
令和元年	693	685	91	98.8	689	676	99	98.1
令和2年	718	683	83	95.1	714	704	89	98.6
令和3年	706	693	78	98.2	696	689	76	99.0
令和4年	601	606	54	100.8	619	614	61	99.2
区分 年度	3回目							
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)				
平成30年	752	690	74	91.8				
令和元年	714	613	67	85.9				
令和2年	714	712	90	99.7				
令和3年	711	660	76	92.8				
令和4年	657	604	50	91.9				

オ ロタウイルス感染症

(ア) 1価ワクチン

(単位：人)

区分 年度	1回目				2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	214	261	28	122.0	160	218	25	136.3
令和3年	550	537	61	97.6	548	533	62	97.3
令和4年	450	446	48	99.1	450	462	50	102.7

(イ) 5価ワクチン

(単位：人)

区分 年度	1回目				2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	160	50	6	31.3	113	43	6	38.1
令和3年	156	147	13	94.2	148	138	12	93.2
令和4年	151	151	5	100.0	169	150	8	88.8
区分 年齢	3回目							
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)				
令和2年	47	37	4	78.7				
令和3年	149	136	11	91.3				
令和4年	148	140	8	94.6				

※令和2年10月1日からロタウイルス感染症の予防接種が定期接種となる

カ 不活化ポリオ

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	—	2	0	—	—	1	0	—
令和元年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和2年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和3年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和4年	—	0	0	—	—	0	0	—
区分 年齢	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	—	1	0	—	—	6	0	—
令和元年	—	0	0	—	—	1	0	—
令和2年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和3年	—	0	0	—	—	2	0	—
令和4年	—	0	0	—	—	0	0	—

キ 4種混合

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	701	697	77	99.4	717	728	80	101.5
令和元年	689	690	100	100.1	689	691	103	100.3
令和2年	714	698	88	97.8	713	703	84	98.6
令和3年	696	687	75	98.7	699	685	74	98.0
令和4年	619	615	58	99.4	636	614	63	96.5
区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	726	745	84	102.6	752	689	62	91.6
令和元年	697	695	96	99.7	764	760	81	99.5
令和2年	711	732	85	103.0	714	736	89	103.1
令和3年	685	672	79	98.1	703	700	70	99.6
令和4年	637	605	55	95.0	713	648	48	90.9

ク 2種混合

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	871	671	4	77.0
令和元年	859	712	4	82.9
令和2年	816	742	6	90.9
令和3年	873	684	5	78.4
令和4年	838	616	7	73.5

ケ 麻しん・風しん

(ア) 麻しん・風しん

(単位：人)

区分 年齢	第1期				第2期			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年	752	745	76	99.1	778	730	18	93.8
令和元年	713	697	86	97.8	847	796	35	94.0
令和2年	714	703	95	98.5	737	665	29	90.2
令和3年	703	679	70	96.6	785	729	29	92.9
令和4年	695	675	55	97.1	738	663	40	89.8

(イ) 麻しん単抗原

(単位：人)

区分 年齢	第1期			第2期		
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分
平成30年	—	0	0	—	0	0
令和元年	—	0	0	—	0	0
令和2年	—	0	0	—	0	0
令和3年	—	0	0	—	0	0
令和4年	—	0	0	—	0	0

(ウ) 風しん単抗原

(単位：人)

区分 年齢	第1期			第2期		
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分
平成30年	—	0	0	—	0	0
令和元年	—	0	0	—	0	0
令和2年	—	0	0	—	0	0
令和3年	—	0	0	—	0	0
令和4年	—	0	0	—	0	0

コ 水痘

(単位：人)

区分 年齢	第1回				第2回			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
平成30年	752	735	74	97.7	692	648	57	93.6
令和元年	713	704	86	98.7	771	687	80	89.1
令和2年	714	712	94	99.7	721	708	87	98.2
令和3年	703	680	71	96.7	722	691	69	95.7
令和4年	713	672	53	94.2	707	613	46	86.7

サ 日本脳炎

(単位：人)

区分 年齢	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
平成30年	776	764	39	98.5	776	760	39	97.9
令和元年	737	719	41	97.6	751	733	43	97.6
令和2年	779	773	56	99.2	779	795	56	102.1
令和3年	732	711	67	97.1	732	709	72	96.9
令和4年	739	685	50	92.7	739	646	40	87.4

区分 年齢	第1期 初回 3回目				第2期			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
平成30年	895	828	42	92.5	895	899	12	100.4
令和元年	837	791	38	94.5	884	864	3	97.7
令和2年	724	752	34	103.9	780	887	12	113.7
令和3年	770	478	22	62.1	782	517	7	66.1
令和4年	744	834	58	112.1	807	871	12	107.9

シ HPV 感染症 (子宮頸がん)

平成25年6月14日付け厚生労働省通知により、積極的勧奨が見合せとなっていたが、令和3年11月に、ワクチンの有効性が副反応のリスクを上回ると認められ、積極的勧奨が再開しました。令和4年度からキャッチアップ対象者への定期接種も実施となりました。

(単位：人)

区分 年齢	小学6年生～高校1年生の女子											
	1回目				2回目				3回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
平成30年	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	—
令和元年	424	1	0	0.2	424	2	1	0.5	424	2	1	0.5
令和2年	426	19	1	4.5	426	14	1	3.3	426	4	0	0.9
令和3年	417	69	2	16.5	417	67	2	16.1	417	48	1	11.5
令和4年	856	99	1	11.6	856	78	0	9.1	856	55	0	6.4

区分 年齢	キャッチアップ対象者(平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ)の女											
	1回目				2回目				3回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和4年	—	230	0	—	—	208	0	—	—	157	0	—

ス HPV 感染症に係る任意接種償還払

区分 年度	申請者数 (人)	接種回数 (回)
令和4年	7	14

※積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逃した人の中で、定期接種の対象年齢を過ぎてHPVワクチンの任意接種を受けた者 1～3回

(2) 定期の予防接種 (B 類疾病)

定期の予防接種のうち、B 類疾病については、個人の発病又はその重症化を防止し、あわせてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病であり、費用の一部を市が負担しております。

ア 高齢者インフルエンザ

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数				接種率 (%)
		60 歳以上 65 歳未満	再掲) 広域分	65 歳以上	再掲) 広域分	
平成 30 年	23,211	12	0	11,271	364	48.6
令和元年	23,159	14	0	11,799	382	51.0
令和 2 年	23,247	8	0	15,525	591	66.8
令和 3 年	23,219	12	0	13,017	547	56.1
令和 4 年	23,125	15	2	13,501	536	58.4

イ 高齢者肺炎球菌感染症

(単位：人)

区分 年齢	60 歳以上 65 歳未満			65 歳			70 歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
平成 30 年	29	1	0	882	480	6	1,441	776	10
令和元年	0	0	0	823	414	5	545	114	4
令和 2 年	24	0	0	775	473	5	1,142	116	1
令和 3 年	21	1	0	821	489	5	505	88	4
令和 4 年	0	0	0	860	440	2	457	95	3
区分 年齢	75 歳			80 歳			85 歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
平成 30 年	1,130	588	4	644	265	2	402	135	2
令和元年	476	96	1	376	61	2	239	40	2
令和 2 年	842	75	1	949	89	3	561	42	0
令和 3 年	557	117	2	420	86	2	254	54	1
令和 4 年	628	86	7	453	60	2	320	48	1
区分 年齢	90 歳			95 歳			100 歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
平成 30 年	206	56	6	56	11	2	6	1	1
令和元年	88	6	0	40	4	2	19	1	0
令和 2 年	220	14	1	74	9	1	11	0	0
令和 3 年	120	24	1	35	5	2	8	3	0
令和 4 年	136	19	0	50	4	0	10	1	0

区分 年齢	101歳以上			合計			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
平成30年				4,796	2,313	33	48.2
令和元年				2,606	736	16	28.2
令和2年				4,598	818	12	17.8
令和3年				2,741	867	17	31.6
令和4年				2,914	753	15	25.8

(3) 大人の風しん（風しん追加的対策）

令和元年度から昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しんの抗体検査及び風しんの予防接種を定期接種（風しんの第5期定期種）として実施しています。

（単位：人）

区分 年度	接種者数				
	対象者数	抗体検査数	接種者数		接種率
			MR	風しん	
令和元年	—	1,017	205	0	—
令和2年	—	1,324	246	0	—
令和3年	—	578	133	0	—
令和4年	—	566	110	0	—

(4) 任意接種

予防接種法に基づかない予防接種（任意接種）について、「風しん」「インフルエンザ」の予防接種のうち、特定の対象者に対し、一部費用の助成を行っています。

ア 大人の風しん（任意） （単位：人）

区分 年度	対象者数	接種者数	
		MR	風しん
平成30年	23	21	2
令和元年	38	37	0
令和2年	10	10	0
令和3年	15	9	5
令和4年	17	15	2

※風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でないと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で助成を受けたことがない妊娠を予定又は希望している女性（妊婦を除く）

イ 子どもインフルエンザ

(ア) 1歳～小学生

(単位：人)

区分 年度	対象者数	1回目	接種率 (%)	2回目	接種率 (%)
平成30年	9,461	5,015	53.0	4,480	47.4
令和元年	9,378	5,291	56.4	4,768	50.8
令和2年	9,234	5,468	59.2	4,905	53.1
令和3年	9,138	4,362	47.7	4,105	44.9
令和4年	9,031	3,757	41.6	3,481	38.5

(イ) 中学生

(単位：人)

区分 年度	対象者数	1回目	接種率 (%)
平成30年	2,658	1,151	43.3
令和元年	2,622	1,240	47.3
令和2年	2,559	1,182	46.2
令和3年	2,595	889	34.3
令和4年	2,603	807	31.0

8 新型コロナウイルス 感染症対策事業

1 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）の発生に伴い、国により、令和2年1月29日に「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」が設置され、令和2年2月7日に新型コロナウイルス感染症を指定感染症に指定する政令が施行されました。

市では、令和2年2月4日に「あま市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染状況に応じて、対策本部会議の開催や感染症予防の呼びかけを実施してきました。

（1）あま市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

令和2年2月4日にあま市新型コロナウイルス感染症に関する検討会を開催し、「あま市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を設置しました。

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類感染症」に移行したため、同日に「あま市新型コロナウイルス感染症対策本部」も廃止しました。

区分 年度	開催回数 (回)
令和元年	5
令和2年	19
令和3年	9
令和4年	1

（2）主な感染症対策

対策内容	周知・実施方法
感染症対策の周知	市公式ウェブサイト、市公式LINE、広報、YouTube動画による周知 公用車でのアナウンス 新しい生活様式についてのポスター作成
公共施設の感染症対策	公共施設の一部利用制限 公共施設でクラスターが発生した場合のフローチャート作成 感染症対策ポスター、アクリル板、体温計、消毒液の設置 こまめな換気の実施
職員の感染症対策	職員感染時のフローチャート作成 体調管理の徹底

2 新型コロナワクチン接種事業

国の方針により、新型コロナウイルス感染症対策のため、新型コロナワクチンの特例臨時接種を令和3年2月17日から令和6年3月31日まで実施しています。

令和6年度以降は、特例臨時接種ではなく、B類疾病の定期接種（季節性インフルエンザと同様）としての実施となります。

(1) 事業一覧

NO	事業名	対象年齢・接種回数
1	新型コロナワクチン接種 (初回接種)	<ul style="list-style-type: none"> ・生後6か月以上・2回または3回 16歳以上:令和3年2月17日接種開始 12歳以上:令和3年6月1日接種開始 5歳以上:令和4年2月21日接種開始 生後6か月以上:令和4年10月24日接種開始 (令和3年2月17日～令和6年3月31日)
2	新型コロナワクチン接種 (3回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・12歳以上の2回目接種日から原則、3か月以上経過した者(令和3年12月1日～令和5年3月31日) ・5歳から11歳の2回目接種日から原則、5か月以上経過した者(令和4年9月6日～令和5年3月31日)
3	新型コロナワクチン接種 (4回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上または18歳以上の基礎疾患等を有する者、医療従事者等及び高齢者施設等の従事者の3回目接種日から原則、3か月以上経過した者 (令和4年5月25日～令和5年3月31日)
4	新型コロナワクチン接種 令和4年秋開始接種	<ul style="list-style-type: none"> ・12歳以上の最終接種日から原則、3か月以上経過した者(3～5回目) ・1人1回のみ ・2価ワクチン (令和4年9月20日～令和5年5月7日)
5	新型コロナワクチン接種 令和5年春開始接種	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の高齢者及び5歳以上の重症化リスクが高い者であり、最終接種日から原則、3か月以上経過した者(3～6回目) ・1人1回のみ ・2価ワクチン (令和5年5月8日～令和5年9月19日)
6	新型コロナワクチン接種 令和5年秋開始接種	<ul style="list-style-type: none"> ・生後6か月以上の最終接種日から原則、3か月以上経過した者(3～7回目) ・1人1回のみ ・XBB.1.5対応1価ワクチン (令和5年9月20日～令和6年3月31日)
7	新型コロナワクチンに関する相談	コロナ相談ダイヤル(24時間対応)

(2) 接種スケジュール

区別	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
初回接種		(令和3年2月17日～令和6年3月31日)			
3回目 (12歳以上)		(令和3年12月1日～令和5年3月31日)			
3回目 (5～11歳)		(令和4年9月6日～令和5年3月31日)			
4回目		(令和4年5月25日～令和5年3月31日)			
令和4年秋開始接種 (12歳以上)		(令和4年9月20日～令和5年5月7日)			
令和4年秋開始接種 (5～11歳)		(令和5年3月8日～令和5年9月19日)			
令和5年春開始接種		(令和5年5月8日～令和5年9月19日)			
令和5年秋開始接種		(令和5年9月20日～令和6年3月31日)			

(3) 接種実績 (令和3年2月17日～令和5年2月29日接種分)

ア 乳幼児 (生後6か月～4歳：人口 3,402人 (R6.2.1時点))

回数	区分	接種回数 (回)	接種率 (%)
1回目		78	2.3
2回目		74	2.2
3回目		66	1.9
令和5年秋開始接種		23	0.7

イ 小児 (5歳～11歳：人口 5,483人 (R6.2.1時点))

回数	区分	接種回数 (回)	接種率 (%)
1回目		1,207	22.0
2回目		1,186	21.6
3回目		397	7.2
令和4年秋開始接種		146	2.7
令和5年春開始接種		0	0.0
令和5年秋開始接種		79	1.4

ウ 12歳以上（12歳以上：人口 79,814人（R6.2.1時点））

回数 \ 区分	接種回数 (回)	接種率 (%)
1回目	70,166	87.9
2回目	69,857	87.5
3回目	54,790	68.6
4回目	20,915	26.2
令和4年秋開始接種	34,038	42.6
令和5年春開始接種	11,151	14.0
令和5年秋開始接種	13,632	17.1

（4）コロナ相談ダイヤル

新型コロナワクチンに関する相談及び接種後の副作用等についての相談として、令和3年度から24時間対応のフリーダイヤルを設置しました。

年度 \ 区分	相談者数 (人)
令和3年	4,665
令和4年	1,360

9 自殺対策事業

1 自殺対策事業

平成 28 年の自殺対策基本法の改正により、自殺対策の新たな位置づけが「生きることの包括的な支援」となり、地方自治体に自殺を防ぐための計画策定が義務付けられ、平成 30 年度から令和 9 年度までの 10 年間の期間とした「あま市自殺対策計画」を策定し取り組んでいます。

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容	令和 4 年度
				最終実績 (人)
1	あま市自殺対策 ネットワーク会議	1 回	関係機関及び団体と連携し、自殺対策を 総合的かつ効果的に推進する	1 回 (書面)
2	あま市自殺対策 推進本部	1 回	計画の進捗管理及び施策の調整等を行う 本部・幹事会 部会	本部・幹事会 1 回 (書面)
3		随時		部会 2 回 (ヒヤリング 1 回)
4	ゲートキーパー 養成講座	3 回	自殺対策に係る人材の確保・養成新規採 用職員、民生児童委員（甚目寺・美和地 区）、市内調剤薬局を対象に実施	122 /4 回
5	自殺防止 普及啓発	通年	自殺防止パンフレット配付 (あまのわ、はたちの式) 自殺対策強化月間に街頭啓発 市内ポストにシールを貼付 市内医療機関・調剤薬局に相談窓口リー フレットの設置 広報あま、市公式 LINE 等	2,770
6	あま安心ダイヤル	通年	24 時間電話相談	144
7	精神保健相談会	3 回	精神科医師による個別相談	5 /3 回
8	こころの相談室	通年	臨床心理師による個別相談 随時	2

2 自殺対策事業詳細

(1) あま市自殺対策ネットワーク会議

自殺対策基本法に基づき、関係機関及び団体と連携し、生きるための包括的な支援を推進することにより、自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、平成30年度からあま市自殺対策ネットワーク会議を実施しています。

区分 年度	回数 (回)	開催日
平成 30 年	2	平成 30 年 8 月 22 日
		平成 31 年 2 月 13 日
令和元年	1	令和元年 5 月 20 日
令和 2 年	1 (書面)	令和 2 年 11 月 6 日
令和 3 年	1 (書面)	令和 4 年 3 月 7 日
令和 4 年	1 (書面)	令和 4 年 9 月 5 日

(2) あま市自殺対策推進本部

市の自殺対策の推進体制を確立するため、庁内関係部局が横断的に参画するよう、あま市自殺対策本部会を開催し、計画の進捗管理及び施策の調整等を行っています。令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症渦であったため、本部・幹事会は書面会議となり、関係部会は関係課とのヒアリングとなりました。

区分 年度	本部・幹部会 (関係部課長)		部会 (関係課担当職員)	
	回数 (回)	開催日	回数 (回)	開催日
平成 30 年	2	平成 30 年 9 月 26 日	2	平成 30 年 8 月 23 日
		平成 31 年 1 月 30 日		平成 31 年 1 月 23 日
令和元年	1	平成 31 年 4 月 24 日	2	令和元年 5 月 15 日
				令和 2 年 2 月 26 日
令和 2 年	1 (書面)	令和 2 年 8 月 28 日	1 (ヒアリング)	令和 3 年 3 月 31 日
令和 3 年	1 (書面)	令和 3 年 11 月 12 日	1 (ヒアリング)	令和 4 年 3 月 28 日
令和 4 年	1 (書面)	令和 4 年 11 月 10 日	2 (内ヒアリング 1 回)	令和 4 年 7 月 5 日
				令和 4 年 12 月 5 日

(3) ゲートキーパー養成講座

多くの市民が「ゲートキーパー」となり、周りの人の異変に気づいたときに適切に行動ができるよう人材育成をするため、ゲートキーパー養成講座を開催しており、令和4年度においては、対象者を拡大し、市内調剤薬局薬剤師に向けて養成講座を実施しました。

区分 年度	回数 (回)	参加者数 (人)	参加者数内訳 (人)				
			民生委員	一般市民	薬剤師	職員	再掲 (新規)
平成30年	2	445	34	5		406	
令和元年	2	46	30	8		8	
令和2年	1	15		8		7	
令和3年	1	21				21	(21)
令和4年	4	122	67	7	7	41	(29)

※職員…平成30年度は全市職員、令和元年度以降は、自殺対策本部会員、新規市職員・健康推進課職員が受講

(4) 自殺防止普及啓発

「あまのわ」や「はたちの式」での自殺防止パンフレット配布や市内医療機関・調剤薬局に相談窓口リーフレットを設置し、自殺対策強化月間では、街頭での啓発活動を行い、自殺防止の普及・啓発を実施しています。

・年度別啓発実施状況

区分 年度	啓発数 (人)	回数 (回)			その他 (新たな取組)
		街頭啓発	あまのわ	はたちの式	
平成30年	2,350	2			
令和元年	2,650	1			
令和2年	3,400	1	0	1	缶バッジ「守りたいところと命」作成
令和3年	2,385	0	1	1	市公式LINE及びメール配信サービス
令和4年	2,770	1	1	1	相談窓口リーフレット設置 (医療機関・薬局)

・年度別街頭啓発実施状況 (自殺予防週間と自殺対策強化月間での啓発)

区分 年度	自殺予防週間		自殺対策強化月間 (3月)	
	実施日	場所	実施日	場所
平成30年	9月16日	名鉄木田駅周辺	3月14日	名鉄甚目寺駅周辺
令和元年	9月13日	名鉄木田駅周辺	中止	
令和2年	9月16日	名鉄甚目寺駅周辺	中止	
令和3年	中止		啓発物品配布 (保健センター窓口)	
令和4年	中止		3月7日	名鉄甚目寺駅周辺

(5) あま安心ダイヤル

令和2年度（令和3年3月）から、健康やこころの相談窓口として、24時間電話相談可能な「あま安心ダイヤル（0120-201-072）」を設置しました。

区分 年度	相談者数 (人)	再掲) ストレス・ メンタルヘルスに 関する相談 (件)
令和2年	11	13
令和3年	64	68
令和4年	133	144

(6) 精神保健相談会

自殺対策ネットワーク会議の委員である精神科医師との連携強化として、令和元年度から精神保健相談会を開始し、年3回精神科医師による個別相談を行っています。令和3年度までは、精神保健相談会の開催日時を周知し、相談者等からの予約を待つ体制であったが、令和4年度から保健センターへ相談があり、精神科医師による個別相談につなげる必要があるケースについては、積極的に精神保健相談会を紹介し、つなげる体制にしました。

区分 年度	開催回数 (回)	相談者数 (人)	相談内容
令和元年	2	1	家族からの相談（ひきこもり）
令和2年	1	1	本人からの相談（うつ状態）
令和3年	1	1	職員からの相談（死にたいと訴えるケース対応）
令和4年	3	5	家族からの相談（ひきこもり）、自死遺族、本人からの相談（就職・人間関係）

※開催回数については、実際に相談会を実施した回数を計上

(7) こころの相談室

臨床心理士による個別相談を各保健センターで実施しています。

区分 年度	相談者数 (人)
平成30年	10
令和元年	2
令和2年	4
令和3年	2
令和4年	2

(8) こころの体温計

令和2年度まで日々の生活の中で感じるストレスや気持ちの落ち込み度をパソコンや携帯電話を利用してチェックできるように、市公式ウェブサイトに「こころの体温計」を掲載しました。

区分 年度	相談者数 (人)
平成30年	16,607
令和元年	9,577
令和2年	10,722

※令和2年度で終了

(9) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育の推進

社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるための教育を推進するため、SOSの出し方に関する教育について学習する機会を市内小中学校で設けています。教育の推進を図るため、令和元年度からあま市養護教諭部会に参加し、ストレスの対処方法や相談先などについて統一した指導ができるよう指導案を作成し、令和5年度から統一的な指導案による教育の推進を行います。

区分 年度	養護教諭部会 参加日	SOS出し方教育についての 健康推進課の取組
平成30年		学校保健委員会にて自殺対策計画策定の周知 学校の自殺対策計画進捗状況を把握
令和元年	令和2年2月12日	あま市養護教諭部会に参加 統一した指導案を作成していくことを決定
令和2年	中止	指導案検討
令和3年	令和4年1月26日	指導案検討（中学校は全校統一内容で推進）
令和4年	令和5年2月3日	指導案完成

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

10 その他

1 保健師活動状況

(1) 年度別活動内容（保健センター部分、常勤保健師のみ）

年度		平成 30 年		令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		
業務内容		単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	
地区 管理	調査研究	6	0.1	34	0.5	9	0.1	9.5	0.1	128	1.9	
	地区管理	1575	23.7	834	13.2	1661	24.9	1184	15.5	1916	28.5	
保健 福祉 事業	家庭訪問	543.5	8.2	437	6.9	392.5	5.9	461.5	6.1	510	7.6	
	健康相談	746.5	11.2	998.5	15.8	555.5	8.3	511.5	6.7	840	12.5	
	保健指導	464	7.0	414.5	6.5	730	11.0	169.5	2.2	828.5	12.3	
	デイケア	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	
	健康診査	1321	19.9	944.5	14.9	648.5	9.7	837.5	11.0	873	13.0	
	健康教育	196	2.9	127	2.0	104	1.6	124	1.6	160	2.4	
	地区組織活動	60	0.9	106	1.7	21	0.3	106.5	1.4	146	2.2	
	機能訓練	0	0.0	2	0.0	1	0.0	1	0.0	0	0.0	
	予防接種	323	4.9	316	5.0	153.5	2.3	2270	29.8	108.5	1.6	
	その他	76.5	1.1	216	3.4	428	6.4	651.5	8.5	66	1.0	
コー デー ネー ト	会議	個別	72.5	1.1	81.5	1.3	58	0.9	65	0.9	128	1.9
		地域	126.5	1.9	91.5	1.4	107.5	1.6	118	1.5	75	1.1
	会議 以外	個別	93.5	1.4	97.5	1.5	110	1.7	72	0.9	172	2.6
		地域	35	0.5	34	0.5	115	1.7	13	0.2	31	0.5
教育 研修	研修企画	5	0.1	1	0.0	1	0.0	6	0.1	3	0.0	
	実習指導	17.5	0.3	23	0.4	15	0.2	11	0.1	1	0.0	
業務管理		477	7.2	516	8.2	466.5	7.0	56	0.7	95.5	1.4	
業務連絡・事務		291	4.4	684.5	10.8	857.5	12.9	655.5	8.6	291	4.3	
研修参加		135.5	2.0	240	3.8	66.5	1.0	150.5	2.0	186	2.8	
その他		87.5	1.3	129.5	2.0	164	2.5	152.5	2.0	175	2.6	
計		6652.5	100.0	6,330	100.0	6,665	100.0	7626	100.0	6734.5	100.0	
保健師数		17 人		14 人		15 人		18 人		16 人		
一人当たりの平均 単位数		391.3		452.1		444.3		423.7		420.9		

※ 1 単位を 4 時間とする。

(2) 年度別家庭訪問状況

年度		平成 30 年		令和元年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		
種	別	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	
	感染症	2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
結核		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	DOTS（再掲）	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	精神保健福祉	4	0.4	5	0.6	24	3.1	0	0.0	19	2.7	
成人・高 齢者保 健	個別健康教育	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	要指導者	1	0.1	5	0.6	0	0.0	0	0.0	2	0.3	
	閉じこもり予防	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	介護家族者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	ねたきり者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	認知症の者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	介護予防事業	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	特定保健指導	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	2	0.2	2	0.2	20	2.6	10	1.0	0	0.0	
	成人・高齢者合計	3	0.3	8	0.9	20	2.6	10	1.0	2	0.3	
	難 病	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
母子保 健	妊 婦	17	1.6	9	1.0	47	6.1	4	0.4	7	1.0	
	産 婦	406	37.3	353	39.4	248	32.0	404	41.9	241	33.8	
	乳 児	新生児	18	1.7	13	1.5	9	1.2	22	2.3	6	0.8
		未熟児	17	1.6	17	1.9	24	3.1	12	1.2	8	1.1
		その他	451	41.4	355	39.6	299	38.6	383	39.7	319	44.7
	幼 児	171	15.7	132	14.7	97	12.5	114	11.8	95	13.3	
	その他	0	0.0	4	0.4	5	0.6	3	0.3	17	2.4	
	母子合計	1,080	99.2	883	98.5	729	94.2	942	97.7	693	97.1	
そ の 他	公害保健	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	0	0.0	0	0.0	1	0.1	12	1.2	0	0.0	
	その他合計	0	0.0	0	0.0	1	0.1	12	1.2	0	0.0	
	計	1,089	100.0	896	100.0	774	100.0	964	100.0	714	100.0	

(3) 年度別コーディネート件数（会議以外）状況

年度	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団
結核・感染症	0	0	1	0	0	22	0	0	13	0
精神	0	0	0	0	1	7	1	3	3	0
健康増進	0	8	0	1	12	1	8	0	23	0
高齢者	1	0	0	1	3	0	0	0	1	0
障害児・者	6	0	4	2	11	0	7	1	11	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
母子	66	0	118	10	59	22	23	3	55	2
その他	2	0	1	2	3	9	4	0	1	0
合計	75	8	124	16	89	61	43	8	107	2

2 骨髄ドナー等助成事業

骨髄・末梢血幹細胞を提供する方の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図るため、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄等を提供した方（以下「ドナー」とする）及びドナーを雇用している事業所に対する助成金の交付を令和元年度から実施しています。

【ドナー】

提供日に市内に住所を有し、日本骨髄バンクを介して骨髄又は末梢血管細胞の提供を行ったドナーに対し1日につき2万円（上限7日）を交付

【事業所】

上記ドナー（個人事業主を除く）が勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人及び国立大学法人を除く）に対し、1日につき1万円（上限7日）を交付

区分 年度	ドナー		事業所	
	申請者数 (人)	助成日数 (日)	申請者数 (人)	助成日数 (日)
令和元年	1	7	1	7
令和2年	3	21	0	0
令和3年	2	14	0	0
令和4年	0	0	0	0

3 救急医療情報キットの配布

健康上不安を抱えている人に、かかりつけ医療機関関連情報、既往歴、服用薬等の救急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットを配布することにより、救急時において市民の安全と安心の確保を図っています。

配布場所：甚目寺・七宝・美和保健センター、甚目寺・七宝・美和包括支援センター、甚目寺・七宝・美和市民サービスセンター、社会福祉課窓口

配布状況

区分 年度	配布数 (セット)
平成30年	1689
令和元年	138
令和2年	488
令和3年	336
令和4年	193

4 献血

現在、医療において輸血は欠かすことができない治療法の一つです。輸血に必要な血液を安定的に確保するために、献血の推進と活動を実施しています。

実施会場：甚目寺庁舎、美和保健センター

区分 年度	実施回数 (回)	受付者数 (人)	献血者数
			400ml
平成30年	4	87	82
令和元年	4	101	87
令和2年	4	110	99
令和3年	4	104	92
令和4年	4	111	91

※平成30年度より400mlのみの受付

5 看護実習生の受け入れ

区分 年度	学校名	職種	人数
平成30年	中部大学	保健師	3人
令和元年	修文大学	保健師	3人
令和2年	中部大学	保健師	2人
令和3年	中部大学	保健師	3人
令和4年	中止		

6 災害対策訓練

区分 年度	訓練日	訓練名	参加者(所属)
令和4年	令和5年1月18日(水)	医療救護班救護所設置訓練	健康推進課 安全安心課 (現在、危機管理課)

編集・発行

令和6年3月

愛知県あま市西今宿馬洗46番地

あま市役所子ども健康部健康推進課

電話 (052) 443-0005

FAX (052) 443-5461

メール kenko@city.ama.lg.jp